

設置の趣旨等を記載した書類
(目次)

1	設置の趣旨及び必要性	P. 2
2	学部・学科等の特色	P. 4
3	学部・学科等の名称及び学位の名称	P. 5
4	教育課程の編成の考え方及び特色	P. 5
5	教員組織の編成の考え方及び特色	P. 8
6	教育方法、履修指導方法及び卒業要件	P. 9
7	施設、設備等の整備計画	P. 12
8	入学者選抜の概要	P. 13
9	取得可能な資格	P. 15
10	実習の具体的計画	P. 15
11	企業実習(インターンシップを含む)や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画	P. 16
12	昼夜開講制を実施する場合の具体的計画	P. 17
13	編入学を設定する場合の具体的計画	P. 17
14	2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画	P. 17
15	社会人を対象とした大学教育の一部を校舎以外の場所(サテライトキャンパス)で実施する場合の具体的計画	P. 18
16	多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画	P. 18
17	通信教育を実施する場合の具体的計画	P. 18
18	管理運営	P. 18
19	自己点検・評価	P. 18
20	情報の公表	P. 18
21	教育内容等の改善を図るための組織的な研修等	P. 19
22	社会的・職業的自立に関する指導等及び体制	P. 19

1 設置の趣旨及び必要性

ア 学部等設置の理由及び必要性

【両大学の沿革】

大阪市立大学経済学部は、1949年の新制大阪市立大学の発足とともに設置され、旧大阪商科大学の伝統を継承して、関西を中心に経済界をけん引する卒業生を送り出してきた。同学部は2016年度以来、その教育目標を「グローバル・プラクティカル・エコノミストの育成」に置き、英語による授業科目を充実させるとともに、学生の国際交流に力を入れている。

大阪府立大学現代システム科学域マネジメント学類は、2012年に同大学の旧7学部を4学域へ再編した際に設けられた新しい学類であるが、その母体は、府立大学に1954年に設置された経済学部にある。マネジメント学類は、もともと学際的であった旧経済学部の伝統を引き継ぎ、経済学のみならず経営学、会計学、法学、データサイエンス、生産システム科学等の諸学問を教授し、システムの思考力と実践力とを備える卒業生を輩出してきた。2018年度からは学類内にマネジメント課程と経済データサイエンス課程の2課程を設け、グローバル化やICT等の技術の発展に対応しうる学生の育成に努めている。

大阪市立大学の経済学部と大阪府立大学のマネジメント学類はいずれも、1年次から4年次までのすべての年次に演習科目を設け、少人数教育によるきめ細かい学生指導に取り組むという共通の伝統を有している。大阪市立大学の経済学部による少人数教育とカリキュラムは2009年度に文部科学省の「大学教育推進プログラム」に採択され、全国の大学から注目を浴びた。

【社会的ニーズ・背景】

しかし、新大学の経済学部は、これまでの伝統と教育・研究の実績のみに満足するわけにはいかない。21世紀の新しい幾多の試練に立ち向かうことが、新経済学部に問われている。

中国やインドの経済の2010年代における急激な成長は、リーマン・ショックやユーロ危機を経た国際経済における相互依存のいっそうの深化とその発展の可能性をもたらす一方で、米中貿易摩擦に代表されるような紛争のポテンシャルをも高め、世界経済の先行きを見通しにくくしている。いわゆる「人工知能(AI)」やInternet of Thingsの進歩に代表される情報通信技術の飛躍的な発展は、それらの知識・技術を有効に活用する能力を人びとに求めているだけでなく、個人情報保護や情報へのアクセスの格差といった倫理上の重大な問題を提起している。少子高齢化は、日本に限らず先進国と新興国とに共通する課題であり、社会保障の財政基盤の大胆な見直し迫られている。そして地球温暖化に代表される気候危機は、「持続可能な成長」という既成の観念を超える革新的なエネルギー利用と経済・社会発展の構想を立てることを現在の世代に要求している。私たちは、ありきたりの処方箋が通用しない時代を生きている。

人類社会が共通して直面する以上のような諸課題に加え、大阪府内に立地する新たな大阪公立大学は、世界経済の動向を見すえながら大阪市民・府民の福祉と大阪経済の均衡のとれた発展に貢献するという使命を担わなければならない。言い換えれば、新大学は、グローバルな視野と長期の視点から大阪の発展を展望し支える人を育成しなければならない。

【新経済学部の必要性】

以上から明らかなように、新大学に、とくにその経済学部に関わっているのは、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りして提案する能力を身に付け

た卒業生を社会に送り出すことである。

両大学を統合した新大学が 2022 年度に開設されるにあたり、大阪市立大学経済学部と大阪府立大学現代システム科学域マネジメント学類は共同して、新大学の新しい経済学部を発足させる。学部と学類とのこの統合によって、これまで両大学が近畿圏において担ってきた経済学教育の量と質の両方を向上させ、21 世紀の経済・社会が直面している諸課題に応えうる経済学教育の発展を期さなければならない。

新大学の経済学部においては、大阪市立大学経済学部のグローバル化志向と、大阪府立大学マネジメント学類の特色をなす経済データサイエンス課程による高度な情報分析能力の育成カリキュラムとの融合により、日本の他の有力大学経済学部に見ない教育目標、3 ポリシー、カリキュラムを確立することで、教育の質の面での発展をめざす。そしてこれを、上述のような過去における少人数教育の蓄積を生かして実践する。加えて、新大学の経済学部は経済学科のみの 1 学科制にするとはいえ、両大学の学部・学類の統合による専任教員数の増加とともにその専門分野が多様化することを受け、各学生の個性・関心・能力に見合う科目履修が可能なカリキュラムを提供する。

したがって、新大学の経済学部は、学生数と教員数の増加にとどまらず、データ分析能力と異文化間コミュニケーション能力とを兼ね備えつつ問題の解決策を志向する能動的なエコノミストを育てるといふ、経済学教育における 1 つの新たなモデルを提供しうるのであろう。

なお、「学生の確保の見通し等を記載した書類」のとおり、本学部においては、長期的かつ安定的に学生を確保することができる。

イ 人材養成の方針及びディプロマ・ポリシー

【人材養成の方針】

本学部の教育目標を、「Active Global Economist (AGE) : 能動的なグローバル・エコノミスト」の育成に置く。AGE とは、経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りに提案することのできる人を指す。AGE は、社会のなかの民間セクターと公共セクター、ならびに営利部門と非営利部門のさまざまな分野で活躍することになるであろう。

【ディプロマ・ポリシー】

本学部は、AGE にとって必要な以下の 7 つの学修成果・能力を獲得した者に、学士（経済学）の学位を授与する。

- 1) 本学部の専門科目における「共通基礎科目」の履修から得られる経済学の知識をふまえた論理的な思考にもとづき、「専門基礎科目」の履修による柔軟にして応用的な発想ができる。
- 2) 専門科目における各種演習科目の履修により多様なデータおよび情報を収集・分析するスキルを身に付け、それを日々の生活のなかで活用することができる。
- 3) 基幹教育科目の外国語科目や英語を使用して授業を行う一部の専門科目の履修をとおして外国の言語と文化を学修・修得し、それらを活かしつつ問題解決の新たな糸口を探ることができる。

- 4) 専門科目における各種演習科目の履修により、自らが取り組んだ分析の結果を、言語や記号を用いて他者にわかりやすく提示することができる。
- 5) グローバル社会かつ地域社会の一員であることの自覚を持ち、自らの知識・技能を活かし、社会の発展のために寄与することができる。
- 6) とくに「専門演習1 A・2」と「卒業論文」の履修をとおして、自ら学習目標・達成目標を立て、自主的・自律的に学習し、課題に対してグループで協議し、課題を解決するための学習、調査、分析を行うことができる。
- 7) 多様な見方を総合して、問題解決の新しい方途を複眼的に構想することができる。専門科目「卒業論文」は総合の能力を、「専門演習1 B」は複眼的構想力を向上させるための科目として位置づけられている。

なお、本学部では、各学生が卒業後の自らの進路に沿って選択し履修する、以下の7種類のプログラムを設けている（詳しくは、後出の「6 - エ」を参照）。これら7種類のプログラムの各々において、以下の「 」内に記されている人の像は、AGEの下位類型に相当する。

- 1) 「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」向けプログラム（後出「5 - イ」の表1で示す「理論経済分野」に属する科目を重点的に履修する）
- 2) 「エコノミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム（経済データサイエンスに関連する科目を重点的に履修する）
- 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム（後出「5 - イ」の表1で示す「応用経済分野」に属する科目を重点的に履修する）
- 4) 「リージョナル・クリエイター」向けプログラム（日本の地域・地方の経済・社会の分析にかかわる科目を重点的に履修する）
- 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム（後出「5 - イ」の表1で示す「グローバル経済分野」に属する科目を重点的に履修する）
- 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム（後出「5 - イ」の表1で示す「経済史・経済思想分野」に属する科目を重点的に履修する）
- 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム（関連科目や法学部・商学部の専門科目を16単位以上修得する）

ウ 研究対象とする中心的な学問分野

本学部における中心的な学問分野は、経済学である。

エ 教育研究上の数量的・具体的な数値目標

なし。

2 学部・学科等の特色

経済・社会・文化のグローバル化にともない、世界中から必要な情報を収集し、外国語を介して意思疎通を図ることのできる能力の獲得は、日本国内に居住して働くうえでもますます必要不

可欠になっている。そして、いわゆる人工知能（AI）をも活用して数多くの情報の適切な取捨選択にもとづいて人間としての判断を下す力量もまた、重要性をいっそう増しつつある。

本学部は、上記のように「能動的なグローバル・エコノミスト」の育成を教育目標に掲げている。すなわち本学部は、経済学の理論的基礎とグローバルな経済・社会の仕組みおよび動向に関する知識を学生に授けるにとどまらず、経済データの分析能力の教授と外国語による意思疎通・相互理解醸成能力の育成に注力することにより、21世紀の経済・社会が直面する問題を他に先んじて把握し、それへの解決策を能動的に立案し発信することのできるエコノミストを養成することを使命とする。この使命は、先述のように、大阪市立大学経済学部のグローバル化志向と、大阪府立大学マネジメント学類の特色をなす経済データサイエンス課程による高度な情報分析能力の育成カリキュラムとを融合することによって全うされうる。そして、能動的なグローバル・エコノミストを、基礎から応用まで段階的・系統的に配置された講義科目と、問題解決志向の各種の少人数演習科目とによって育てるという教育上の試みが、本学部の特色をなす。

3 学部・学科等の名称及び学位の名称

ア 学部・学科等の名称及び当該名称とする理由

学部名を「経済学部」とし、「経済学科」のみの単専攻とする。学部名・学科名は、受験生・在学生・社会にとって理解しやすいものでなければならず、かつ、当学部の3ポリシーとカリキュラムは大阪市立大学経済学部と大阪府立大学の旧経済学部のそれらを継承するものであるがゆえに、経済学という学問を明示した上記の名称が最も適切である。

イ 学位の名称及び当該名称とする理由

授与する学位は、「学士（経済学）」とする。学部名及び学科名の理由と同様に、学生が経済学という学問を基本とする教育を受け、学士としての学修成果を獲得したことを、学内外にわかりやすく示すため、上記の学位名称を採用する。

ウ 学部・学科等及び学位の英語名称

学部の英語名称：School of Economics

学科の英語名称：Department of Economics

学位の英語名称：Bachelor of Economics

4 教育課程の編成の考え方及び特色

ア 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーにおいて示した7つの学修成果を学生が獲得することを目指し、経済学部のカリキュラム・ポリシーは以下の順次性にしたがって必要な科目を配置する。

【順次性に関する方針】

- ・基幹教育科目では、幅広い教養、多面的な視野、外国語によるコミュニケーション能力を修

得させるために、総合教養科目、初年次教育科目、情報リテラシー科目、英語及び初修外国語、健康・スポーツ科学科目（講義及び実習）を必修科目として配置し、主として1年次に履修させる。さらに、本学部での学修に必要な基礎的知識や技能を修得させるため、基礎教育科目である「基礎数学A」および「基礎数学B」を必修科目として配置し、1年次に履修させる。

- ・1年次には、経済学部の専門科目の講義である「入門科目」を履修することにより、経済学の知識や能力を身に付けるための準備を行う。また、基幹教育科目から、演習科目である「初年次ゼミナール」を履修することにより学士としての基本的な学習・調査・発表能力を養い、「外国語科目」および「基礎教育科目」を履修することで、国際的な意思疎通の仕方および数学的知識の基礎を学ぶ。
- ・2年次には、経済学部の講義科目としては「共通基礎科目」および「専門基礎科目」を履修することにより、経済学の理論および知識の基礎（「共通基礎科目」）と柔軟な発想力（「専門基礎科目」）とを身に付ける。演習科目としては「イノベティブ・ワークショップ」および「論文演習」を履修することにより、自主的・自律的な学習および他者との協働への態度を養う。また、1・2年次を通じて「総合教養科目」を履修することにより、幅広い知識を総合し活用することのできる能力を身に付ける。
- ・3年次および4年次には、経済学部の講義科目としては「応用科目」を、演習科目としては「専門演習1A」および「専門演習2」を履修することにより、経済学の学士に必要な知識および能力を身に付ける。

【学修成果の達成に関する方針】

- ・初年次から最終年次までのすべての年次において、少人数による演習科目を配置することによって、他者と意思疎通する能力、自律的に学習する能力、他者と協働する能力を身に付ける。
- ・豊富に設けられた英語で提供される講義科目および演習科目を履修することによって、英語による受信・発信スキルを身に付ける。
- ・講義科目および演習科目で提供される国内や海外の他大学との交流および討論の機会を通して、複眼的な構想力と協働への志向性を身に付ける。
- ・卒業論文を作成することによって、それまでに獲得した学修成果を最大限に活かしながら多様な見方を総合して、問題解決の新しい方途を複眼的に構想する力を身に付ける。

以上の学修成果を評価する方法は、それぞれの科目の種類に応じて異なる。演習科目においては授業中の発表やレポートの内容が、英語で提供される科目においては授業中の意思疎通の水準と英語によるレポートまたは期末試験の成績が、講義科目では小テストや期末試験の成績が、学修成果の評価において重視される。卒業論文については、論文の質について多角的な評価がなされる。各科目の評価方法の詳細は、シラバスに掲載される。

経済学部が提供する科目は、大阪公立大学のめざす方針および大学設置基準第21条に則り、単位の実質化を図るべく構成する。

イ 教育課程の概要及び特色

専門科目の科目区分は、講義科目が中心の「入門科目」「共通基礎科目」「専門基礎科目」「応用科目」、および演習型の授業からなる「演習科目」の5種類を設けている。「共通基礎科目」である9科目の中から4科目・計8単位以上、「専門基礎科目」である12科目の中から3科目・計6単位以上を習得することが、卒業の要件となっている(いわゆる選択必修科目)。「共通基礎科目」と「専門基礎科目」以外の科目群に含まれる諸科目は、すべて選択科目である。

「入門科目」は、経済学で取り扱われる日本経済と世界経済の重要にして今日的なトピックに触れてもらい、経済学への学生の関心を喚起することを目的とする。1年次の後期から2年次にかけて履修をする「共通基礎科目」は、経済学の理論の基礎を教授する科目群である。2年次での履修を予定している「専門基礎科目」は、「共通基礎科目」から「応用科目」への橋渡しをする位置に置かれており、経済学を具体的課題へと応用するための柔軟な発想力を学生に身に付けてもらうための科目群である。3年次以降の履修を予定している「応用科目」を通して学生は、現実の課題に解決策を提供しようとする経済学の研究の現場に触れる。学生は、「入門科目」から「応用科目」まで段階を踏んだ履修をすることにより、経済学を系統的に身に付けることができる。

「演習科目」は、1年次後期から2年次前期にかけて履修する「イノベティブ・ワークショップ」(1クラスの定員は16名)において、自分が見つけた課題を探究する能力、ならびに他者との討論や共同作業を通じて解決策を見いだす姿勢を身に付ける。2年次の「論文演習」(1クラスの定員は10名)においては、学術論文の書き方を学ぶ。「イノベティブ・ワークショップ」と「論文演習」は、同一年次のすべての学生がいずれかの演習科目を履修しうるうえで十分な数のクラスを提供する。3年次の「専門演習1A」(1クラスの定員は10名)では、各教員からそれぞれの専門分野に関する知見を学ぶとともに、同じ演習に所属する他の学生との共同の課題探究や、他の演習に所属する学生または他大学の学生を前にした研究発表に取り組む。同じく3年次に提供される「専門演習1B」は、「専門演習1A」とは異なる担当教員の演習を履修することにより、学生の複眼的な構想力を養うことを目的とする。4年次の「専門演習2」では、原則として「専門演習1A」の担当教員と同一の教員のもとで、卒業論文を執筆するための研究に取り組む。このように「演習科目」もまた、各年次の学生の到達度に見合う内容の科目が提供されることになっており、1年次前期に履修する基幹教育科目中の「初年次ゼミナール」と合わせて、すべての年次において少人数の演習科目を設けている。なお、「専門演習1A」「専門演習2」「卒業論文」を履修するための要件として、2年次終了までに以下の諸科目・計25単位を修得することを定め、以って学生に系統的な科目履修を促すこととする：

- (1)初年次教育科目 (1科目・2単位)
- (2)英語科目 (6科目・計6単位)
- (3)初修外国語科目(4科目・計4単位)
- (4)基礎教育科目 (2科目・計4単位)
- (5)共通基礎科目 (4科目・計8単位)
- (6)「イノベティブ・ワークショップ」または「論文演習」または「経済データサイエンス演習」のいずれかの単位 (2単位)

5 教員組織の編成の考え方及び特色

ア 教員組織編成の考え方

先に「4-I」でも述べたように、1年次の後期から2年次にかけて履修をする「共通基礎科目」は、経済学の理論の基礎を学生に教授する科目群であり、段階を踏んだ学修が重要になるため、担当教員間の緊密な連携が不可欠である。そのため、この「共通基礎科目」はすべて専任教員が担当する。

学生が3年次以降に履修する「応用科目」とその担当教員の配置は、先に「1-I」で紹介した7種類のプログラムに沿って行われる。配置の詳細は、末尾の「資料1 経済学部 プログラム別カリキュラムマップ」を参照されたい。

本学部の特色の1つである少人数教育の要は「専門演習1A」（および「専門演習1B」）と「専門演習2」である。したがって、これらの演習科目は本学部のすべての専任教員がそれぞれの専門分野を活かしつつ担当する。

なお、教育研究上の管理運営については教授会が司るが、次のイで示す学部内の研究分野の編成に沿って専任教員が教育の運営に積極的に参画し、責任をもって取り組む。

イ 教員組織編成の特色

専任教員の組織は、以下の表1が示すように4つの研究分野に沿って編成される。各研究分野の内部では、研究をめぐる日常的な情報交換と討議はもちろん、大学院生と学生への教育・指導についても交流がなされる。

表1 教員組織編成

研究分野	教員数	主な授業科目の名称	研究分野	教員数	主な授業科目の名称		
理論経済	11名	行動経済学	経済史・経済思想	8名	経済学説史		
		複雑系経済学			社会思想史		
		ゲーム理論			政治経済思想		
		マクロ経済学1			戦後経済史		
		計量経済学			マルクス経済学		
		発展ミクロ経済学			西洋経済史		
		マクロ経済学2			社会政策論		
		マクロ経済学3			アジア経済史		
		統計解析論			グローバル経済	7名	世界経済論
		経済変動論					東南アジア経済論
		産業経済論					国際経済学
日本経済論	開発経済論						
空間経済学	外国人労働者論						
金融入門	国際金融						
金融経済論							
財政学							
労働経済							
政府間財政論							
公共経済学							
産業政策論							
産業組織論							
地方財政論							
医療経済学							
福祉経済論							
流通経済論							
応用経済	15名						

ウ 専任教員の年齢構成

本学部の専任教員の定年は、全学の定めに沿って 65 歳とする。

新大学の完成年度にあたる 2025 年度末（2026 年 3 月）時点における本学部の計 41 名の専任教員の年齢構成は、下の表 2 のとおりである。

表 2 専任教員の年齢構成

	職名	29 歳 以下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 歳 以上	計
経済学部 経済学科	教授	0	0	1	13	7	21
	准教授	0	2	13	4	1	20
	講師	0	0	0	0	0	0
	助教	0	0	0	0	0	0
	計	0	2	14	17	8	41

上の表 2 に示されているように、30 歳代の若手専任教員が 2025 年度末時点では少数になるが、2025 年度末までに本学部では新たな専任教員の採用を予定しており、それらの教員はいずれも若手の教員を採用するので、30～40 歳代の教員層は 2025 年度末までには厚くなる予定である。そのため、完成年度における教育研究水準の維持向上および活性化は保証される。

上記の点を度外視するとしても、教員の年齢構成は現時点ですでにバランスがとれているので、完成年度を迎えるまでの間においても学部の教育・管理運営と研究を遂行するうえで支障はない。

6 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

ア 教育方法

上述のとおり、本学部の専門教育のカリキュラムは、1 年次から 4 年次までの各年次に応じて、「入門科目」から「共通基礎科目」と「専門基礎科目」を経て「応用科目」へといたる段階的かつ系統的な講義科目によって経済学部の基礎的または応用的な知識を身に付けるとともに、やはり段階的に設けられた諸種の演習科目によって経済学の知識を具体的な課題に即して適用し解決策を考案する能力を養うことをめざす。「入門科目」と「共通基礎科目」については、1 つの年次の全学生が履修できるよう配置する。各種の演習科目は、たとえば「イノベーティブ・ワークショップ」について 16 名、「論文演習」について 10 名、「専門演習 1 A」と「専門演習 2」についてはそれぞれ 10 名というふうに、各科目の運営にとってふさわしい定員を設けるとともに、いずれの演習科目についても十分な数のクラスを提供することにより、少人数での行き届いた教育を保障する。

また本学部の教育目標とする「Active Global Economist (AGE)：能動的なグローバル・エコノミスト」の養成にあたり、設定するディプロマ・ポリシーを体系化するためには多面的な学びが必要となる。そのため、各授業科目を必修科目として位置づけるのではなく、各科目区分における学習効果に対応しうる科目を選択必修とし、経済学を適切かつ体系的に学んでいけるよう提供する。

イ 履修指導方法

学生への履修指導は、履修規程を学生向けにわかりやすく解説した『履修ガイド』の冊子を全学生に配布するとともに、この『ガイド』を用いた履修ガイダンスを新入生に対して行うことにより実施する。

1・2年次の学生に対しては、「イノベティブ・ワークショップ」や「論文演習」のような少人数の演習科目を担当する教員が、履修指導を担当する。

3年次の「専門演習1A」と「専門演習1B」を履修するうえでは、各教員の「専門演習」の特色を紹介するガイダンスを、2年次の学生向けに各年度の後期に開催する。

ウ 卒業要件

卒業要件の概略は、末尾の「資料2 卒業要件」にまとめてある。

基幹教育科目における必修科目としては、①1年次前期の「初年次教育科目（初年次ゼミナール）」（2単位）、②1～2年次の「情報リテラシー科目」（2単位）、③1～2年次の「英語科目」（4科目・計6単位）、④1～2年次の「初修外国語科目」（4科目・計4単位）、⑤1～2年次の「健康・スポーツ科学科目」における講義（2単位）と実技（1単位）を置く。また、基幹教育科目の⑥総合教養科目の中から5科目（計10単位）以上を選択し、その単位を修得する必要がある。以上の計27単位に加え、①～⑤および⑥の科目群の中から10単位以上を選択して修得し、基幹教育科目では小計して37単位以上を修得することが卒業要件となる。

社会科学のなかでも経済学の学修においてはとくに段階性と系統性が要求される。そのため本学部では、1年次から4年次までの段階を踏んだ体系的な経済学の学修を可能にする次のような履修方法を設けている。

まず、専門科目の講義科目では、学生は1年次前期の「入門科目」（2科目・各2単位）を経て、1年次後期～2年次前期の「共通基礎科目」を履修する。この「共通基礎科目」は、経済学の理論的基礎を学ぶための科目群（計9科目）である。また、2年次の前期と後期には、経済学の理論的な基礎と応用とを橋渡しするための「専門基礎科目」（計12科目）を履修することになる。そして、学生は3年次以降には各種の「応用科目」の講義を履修する。

次に、専門科目の演習科目では、1年次後期～2年次前期に履修する「イノベティブ・ワークショップ」（2単位）、1年次の後期以降に履修する「論文演習」（2単位）、2年次後期に履修する「経済データサイエンス演習」（2単位）、3年次の「専門演習1A」と「専門演習1B」（各4単位）、ならびに4年次の「専門演習2」（4単位）を設けている。そして、「専門演習1A」と「専門演習1B」と「専門演習2」と「卒業論文」（6単位）を履修するためには、基幹教育科目から「初年次教育科目」（1科目2単位）、「英語科目」（6科目・計6単位）、「初修外国語科目」（4科目・計4単位）、「基礎教育科目」（2科目・計4単位）の単位を修得し、専門科目では「共通基礎科目」から4科目・計8単位に加えて、「イノベティブ・ワークショップ」または「論文演習」または「経済データサイエンス演習」のいずれかの単位（2単位）を事前に修得していなければならない。「専門演習」と「卒業論文」を履修するための以上のような要件を設けることで、経済学の学士課程に系統性を保証する。

専門科目に関しては、「共通基礎科目」「専門基礎科目」「演習科目」「入門科目」「応用科目」か

ら、小計 84 単位以上を修得し、加えて「基礎教育科目」である 1 年次の「基礎数学 A」（2 単位）と「基礎数学 B」（2 単位）の必修 4 単位の合計 88 単位を修得することが、卒業要件となる。そのため、基幹教育科目 37 単位と専門科目・基礎教育科目の合計 88 単位とを合わせた全体としての卒業要件は、125 単位以上とする。

先に「4 - イ」でも述べたとおり、専門科目については「共通基礎科目」から 8 単位以上、「専門基礎科目」から 6 単位以上の単位を修得することを卒業要件とする。これらの科目群を選択必修とするのは、経済学の知識をふまえた論理的な思考にもとづき、応用的な発想ができるようになる素地を学生のなかに養うためである。「共通基礎科目」は、経済学の理論的な基礎を教授する科目群であり、しかもたとえば「マクロ経済学 1」と「マクロ経済学 2」のように連続して履修することが望ましい科目が多く含まれているため、4 科目・8 単位の選択必修とする。「専門基礎科目」は、「共通基礎科目」における理論と「応用科目」における発展的応用とを橋渡しする位置に置かれており、3 科目・6 単位を習得することによって「応用科目」を履修するうえでの素地を学生が身に付けることを意図する。

以上の卒業要件については、末尾の「資料 2 卒業要件」を参照されたい。

なお、本学部では卒業論文の単位数を 6 単位とする。これまでの大阪市立大学経済学部と大阪府立大学マネジメント学類での卒業論文指導の経験から見ても、学生は 3 年次の 1 月から 4 年次の 1 月までの 13 カ月間にわたって卒業論文に取り組み、1 週間につき 5.2 時間を卒業論文に費やすと判断される。したがって、卒業論文に 6 単位を与えることは妥当である。

エ 履修モデル

経済学部専門科目が各年次の各学期にどのように配置されているかは、末尾の「資料 3 経済学部専門科目 科目配置表（全科目）」に示されている。そして、別紙の 7 種類の「経済学部専門科目 履修モデル」では、先に「1 - イ」において紹介した本学部の 7 つのプログラムの各々に対応した標準的な履修モデルを示してある。（資料 4-1～4-7）

先述のとおり、本学部は統一的な教育目標として、「能動的なグローバル・エコノミスト（AGE）」の育成を掲げている。そして、末尾の「資料 1 経済学部 プログラム別カリキュラムマップ」にも示されているとおり、この AGE に以下の 7 つの下位類型とそれらの各々に対応する 7 つのプログラムを設け、学生が自らの志望や関心に応じて 7 つのプログラムのいずれかを選択することを推奨する。

- 1) 「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」向けプログラム（「理論経済分野」に属する科目を重点的に履修する）：公務員、金融・証券・保険業等の志望者向け。（資料 4-1）
- 2) 「エコノミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム（経済データサイエンスに関連する科目を重点的に履修する）：情報・通信産業等の志望者向け。（資料 4-2）
- 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム（「応用経済分野」に属する科目を重点的に履修する）：公務員、エネルギー・交通などの公益事業等の志望者向け。（資料 4-3）
- 4) 「リージョナル・クリエイター」向けプログラム（日本の地域・地方の経済・社会の分析にかかわる科目を重点的に履修する）：製造業、サービス業、地方公務員等の志望者向け。（資

料 4-4)

- 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム（「グローバル経済分野」に属する科目を重点的に履修する）： 商社、製造業、金融・証券・保険業、外資系企業等の志望者向け。（資料 4-5)
- 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム（「経済史・経済思想分野」に属する科目を重点的に履修する）： 福祉、教育、環境保護、NPO 等の志望者向け。（資料 4-6)
- 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム（関連科目や商学部・法学部の専門科目を 16 単位以上修得する）： 税理士・公認会計士、流通業、金融・証券・保険業、マスメディア等の志望者向け。（資料 4-7)

オ 多様なメディアの活用

応用科目の 1 つである「計量経済学」等の授業科目では、インターネットによってフィリピンなど海外の大学の教室とのあいだでテレビ中継を行い、本学部の学生が海外の学生と研究発表をしたり討論したりする機会を設けている。

カ 履修科目の上限設定

履修科目について、大阪公立大学の定めている上限単位数の方針の下、4 年間を通じて年間 50 単位未満、前期 25 単位以下、後期 25 単位以下とする CAP 制を設ける。この年間 50 単位未満の上限を設けることにより、本学部での学びにおいて学生の十分な学修時間を確保する。

集中講義の形式による科目は、上記の制限の対象外とする。

また、或る学期の GPA が 3.00 以上であった学生は、その次の学期に、上記の履修上限よりも 6 単位まで多く、科目を履修することができるものとする。

キ 他大学における授業科目等の履修

該当なし。

7 施設、設備等の整備計画

教育研究に使用する施設、設備等

経済学部において教育研究を行う施設、設備については、「大阪公立大学・大阪公立大学院設置の趣旨等を記載した書類」に記載のほか、森之宮キャンパスに新たに建設する新校舎の施設と大阪市立大学の杉本キャンパスの施設・設備等を継承する次の施設、設備等により実施することから、学生、教員に対して十分な教育研究環境を提供するものである。

1) 講義室・演習室・研究室等

経済学部では、授業の形態に応じて講義室や演習室等の施設を使用し、専任教員には研究室を割り当て、学部教育と大学院教育を実施する。経済学部における施設概要は次のとおりである。

【施設概要】

- ・ 講義室 17 室

- ・演習室 6室
- ・研究室 57室（共同研究室、教員居室を含む）
- ・実習室 4室

8 入学者選抜の概要

ア アドミッション・ポリシー

【求める学生像】

本学部は、「経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人」を育てるという教育目標にもとづき、高等学校教育段階において人文・社会・自然科学を均衡のとれた仕方で学修し、グローバルな経済・社会が直面している問題に関心を抱き、他者との意思疎通や共同の事業に取り組むことのできる人を受け入れる。

イ 入学者選抜の方法と体制

（1）特別選抜：学校推薦型選抜

募集人員 60名（「英語重点型」は38名、「数学重点型」は22名）

大学入学共通テストにより、高等学校教育段階においてめざす基礎学力と経済学部での学修に十分に対応できる能力とを確認し、出身学校長による推薦書および活動報告書の内容とあわせて学力の3要素を総合的に評価する。

出願時に受験生に提出を求めるのは、調査書、学校長推薦書、活動報告書の3点とする。出願の時期は大学入学共通テストの実施前とし、合否判定の時期は前期日程入試の実施よりも前とする。

この選抜方法における大学入学共通テストの配点は、次のとおりである：

英語重点型 国語 200+外国語 300+数学 200+地歴・公民（1科目）100=800点満点

数学重点型 国語 200+外国語 200+数学 300+地歴・公民（1科目）100=800点満点

（2）一般選抜（前期日程）

募集人員 185名

大学入学共通テストでは、高等学校教育段階において獲得された基礎学力を、個別学力検査では、経済学部での学修に十分に対応できる知識とそれを活かした思考力・判断力・表現力などの獲得水準を評価する。

この選抜方法における大学入学共通テストの配点は、次のとおりである：

国語 100+数学 100+理科 50+外国語 100+地歴・公民（2科目）100=450点満点

この選抜方法における個別学力検査の配点は、次のとおりである：

国語 150+数学 150+外国語 150=450点満点

(3) 一般選抜（後期日程）：大学入学共通テスト高得点選抜

募集人員：35名

大学入学共通テストにより、高等学校教育段階においてめざす基礎学力と経済学部での学修に十分に対応できる能力とを確認する。大学入学共通テストについては、大阪市立大学経済学部による同種の入試とは異なり、「国語」「外国語」「数学」のうちで最も得点の高かった科目の比重値を上げることがせず、大学入学共通テストの単純な総点の高得点度を判定する。

この選抜方法における大学入学共通テストの配点は、上述の一般入試の前期日程と同一である。個別学力検査は課さない。

(4) 一般選抜（後期日程）：ユニーク選抜

募集人員：15名

大学入学共通テストでは高等学校教育段階においてめざす基礎学力および経済学部での学修に十分に対応できる能力を、自己推薦書・特別活動要覧等の書類では活動成果・実績を、それぞれ確認することにより、学力の3要素を評価する。

この選抜方法における大学入学共通テストの配点は、上述の一般選抜の前期日程と同一である。個別学力検査は課さない。

(5) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員：若干名

日本留学試験では日本語能力と基礎学力を、個別学力検査等では経済学部での学修に十分に対応できる知識とそれを活かした思考力・判断力・表現力などの獲得水準、ならびに学ぶ意欲を、それぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価する。

個別学力検査等における科目は、次のとおりである：

数学（90分）、外国語（100分）、作文（90分）、口述試験

ウ 多様な学生の受入

上述の「学校長推薦をとまなう大学入学共通テスト高得点選抜」により、本学部での勉学を強く希望する学生を受け入れる。後期日程の「ユニーク選抜」により、大学入学以前にさまざまな分野で顕著に活躍した学生を受け入れる。

「私費外国人留学生特別選抜」により外国人留学生を受け入れる。私費外国人留学生特別選抜では、日本留学試験の「日本語」「総合科目」「数学」の得点にそれぞれ一定の下限を設けるとともに、個別学力検査において「数学」「外国語」および日本語による「作文」を課すことで、留学生の日本語能力等の水準を確保する。個別学力検査の「口述試験」では、留学生の経費支弁能力および継続的な在籍・通学の保証について、確認をする。入学後の留学生への在籍管理は、1年次から4年次までの全年次に設けられる少人数の演習科目の担当教員により行われる。

また、各年度に若干名の科目等履修生を受け入れることにより、高校または大学を卒業した人びとによる広い学修機会の確保にも努める。科目等履修生の受入にあたっては、書類選考等の方法を用いるなど、講義科目の中でも基礎的な科目群に限定して、受入を行う。受入の人数は、正

規の学生の受講の妨げとならない範囲に限定する。その他、正規の学生以外の者の受入については、学則および大学院学則に定め、それぞれの規程に準じて受入を行う場合がある。

9 取得可能な資格

本学部の教育課程を履修することで資格取得が可能であるが、資格取得を卒業要件とはしていない資格は、下の表3のとおりである。

表3 取得可能な資格

資格名	種別
中学校教諭一種免許状（社会）	国家資格
高等学校教諭一種免許状（公民）	国家資格

10 実習の具体的計画

【教育実習の具体的な計画】

ア 実習の目的

本学は1学域、11学部、15研究科からなる総合大学として、大阪市、大阪府をはじめとする関西圏を中心とした、教育現場の発展に寄与する高度な専門性を有する教員の養成を目標とする。

教職課程の集大成にあたる教育実習では、教育現場である学校に実際に身を置くという経験を通して、教師の使命や具体的な職務内容、教師として必要な資質・能力を改めて認識するとともに、各学域・学部での専門的な学びや教職課程での学びを土台に、学習指導や生徒指導等の教育活動に取り組むことを通して、教師としての指導力・実践力を高め、教職への適性を確かめることを目指す。

イ 実習先の確保の状況

教育実習の実習先として、大阪市教育委員会、大阪府教育委員会から実習受け入れの承諾を得ている中学校132校、高等学校154校を確保しており、実習先の確保としては十分な状況にある。

（資料5-1 教育実習施設一覧）

（資料5-2 大阪府教育委員会、大阪市教育委員会実習受入承諾書）

ウ 実習先との契約内容

大阪市教育委員会、大阪府教育委員会と実習時に順守すべき事項等について事前に協議し、決定する。

エ 実習水準の確保の方策

教職課程の各授業科目の履修、教育実習の事前事後指導、学内で実施する教育実習関係の各種オリエンテーション等を適切に実施することや実習担当の教職員が実習先と密に連絡を取り合うこと等を通じて実習水準を確保する。

オ 実習先との連携体制

実習開始前に、本学の教員及び教職担当の事務担当者を通じて、実習先担当教職員と十分な打ち合わせを行う。また、実習中に随時連絡を取り合える体制を構築する。

カ 実習前の準備状況（感染予防対策・保険等の加入状況）

学生の健康管理については、本学で全学生対象に年1回実施する定期健康診断を受診させ、学生の健康状況を全学的に把握する。また、学生教育研究災害傷害保険及び学生教育研究賠償責任保険等の保険加入を義務付ける。さらに、感染予防対策として、事前指導時において予防接種等の確認を行う。また、実習前のオリエンテーション等を通じて実習中に知りえた情報に関する守秘義務の厳守やSNSに実習中の事項を投稿等しないことについて指導する。

キ 事前・事後における指導計画

教育実習においては、教育実習事前事後指導の授業内で事前指導、事後指導を行う。事前指導では、教育実践の責任の大きさや奥の深さを認識しつつ実習への総合的な準備をし、実習の一般的な心構えと教育現場の教育活動に必要とされる知識・態度について理解を深める。事後指導では、教育実習の反省や考察を少人数による討論によって行う。

ク 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

教育学を専門とする専任教員に加え、教職課程を設置するすべての各学域・学部、研究科の専任教員が巡回指導を行う。巡回の回数等は実習校と協議し決定する。

ケ 実習施設における指導者の配置計画

大阪市教育委員会、大阪府教育委員会及び実習校と適切な指導者の配置について、協議する体制を整える。

コ 成績評価体制及び単位認定方法

教育実習における成績評価・単位認定については、実習校からの実習に関する評価を基に、大学の専任教員が総合的な観点から評価し、単位認定を行う。

11 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

該当なし。

12 昼夜開講制を実施する場合の具体的計画

該当なし。

13 編入学を設定する場合の具体的計画

該当なし。

14 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

大阪公立大学では、2025年度（令和7年度）に森之宮キャンパスを開設し、全学共通教育としての基幹教育を実施する。

経済学部（経済学科）においては、1～2年次に基幹教育を実施し、収容定員は590名である。また、3～4年次の専門教育を杉本キャンパスで実施し、収容定員は590名である。いずれの教育も十分な収容定員を確保する。

森之宮キャンパスにおいては、国際基幹教育機構所属の教員83人を配置し基幹教育を実施する。また、経済学部の専任教員も森之宮キャンパスで1～2年次配当の専門科目を実施する。杉本キャンパスには41人の専任教員を配置し専門教育を実施する。

教員のキャンパス間の移動については、教育を実施するそれぞれのキャンパスでの担当授業が同一日にならないよう時間割を調整する。また、森之宮キャンパスには、他キャンパスを拠点とする教員向けの執務スペースを設ける。

学生に対しては、森之宮キャンパス・杉本キャンパス共に図書館、自習スペース等を整備し、学生の授業時間外学習を各キャンパスで適切に行えるようにする。さらに、保健管理施設、学生相談室、履修相談、健康管理、厚生補導の体制を各キャンパスで整備するほか、大学ポータルサイトを開設する。

参考：資料6 経済学部キャンパスの遷移

時間割について、経済学部経済学科の1年次は、月曜日から金曜日の授業科目を森之宮キャンパスで履修する。

森之宮キャンパスにおける時間割は、CAP制に配慮し編成することで、学生が無理なく授業科目を履修できるようにする。

また、3年次以降は全ての授業科目を杉本キャンパスで履修することから、学生は無理なく授業科目を履修することが可能である。

森之宮キャンパスは都心に位置（大阪府大阪市城東区森之宮）しており、公共交通機関等の交通手段が充実していることから、学生のキャンパス間の移動については問題ないと考えるが、学生の学修行動（正課外含む）を分析することにより、必要な配慮を検討する。

なお、大阪府立大学マネジメント学類に所属する教員の中には、同学類の学生が在籍している2024年度までは府大の中百舌鳥キャンパスと新大学の杉本キャンパスとを往来する必要がある教員がいることが想定される。この場合、そうした教員の負担を軽減するべく、移動に無理のない授業時間割を組む必要があり、そうした教員が杉本キャンパスにおいて授業の準備をするため

の部屋を確保する。

キャンパス移動後に単位未修得の授業科目を履修する者、他キャンパスの授業科目を自由科目として履修を希望する者に対しては、基本的には面接により授業を実施するため、学生が授業実施キャンパスに移動することを原則とするが、履修希望者の人数や履修登録状況に応じて、教員が学生の所属するキャンパスに移動して授業を行うことや、メディアを利用して授業を実施するなど、学生の履修に配慮するものとする。

15 社会人を対象とした大学教育の一部を校舎以外の場所（サテライトキャンパス）で実施する場合の具体的計画

該当なし。

16 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

本学では、平常時の面接による授業の実施を原則とするが、大学設置基準第 25 条第 2 項および本学の学則の規定に基づき、多様なメディアを高度に利用し、同時に双方向に行うことができる遠隔授業を実施できることとすることから、カリキュラムの改善等により、多様なメディアを利用した授業が必要となった場合は、文部科学省の告示の要件等に基づき、実施するものとする。

17 通信教育を実施する場合の具体的計画

該当なし。

18 管理運営

大阪公立大学・大阪公立大学院設置の趣旨等を記載した書類参照。

19 自己点検・評価

大阪公立大学・大阪公立大学院設置の趣旨等を記載した書類参照。

20 情報の公表

大阪公立大学・大阪公立大学院設置の趣旨等を記載した書類参照。

21 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

毎 Semester における授業評価アンケートの結果の検討、科研費をはじめとする外部資金の獲得を向上させるための研修、人権問題に関する研修をはじめとする学部レベルのFD研修会を、すべての専任教員を対象にして各年度に最低4回は開催する。

上記の学部FD研修会は、同時にSD研修会としても開催し、職員の知識・技能の向上を促す。全学的な取り組み等は大阪公立大学・大阪公立大学院設置の趣旨等を記載した書類参照。

22 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

ア 教育課程内の取組について

そもそもキャリア教育は、学生の多くが大学生活のなかで卒業後の自らの進路を見極めたうえで民間企業の社員や公務員として就職していく経済学部にとって、正課教育から切り離すことのできない重要性を帯びている。そのため本学部では先述のとおり、カリキュラムのなかに「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」、「エコノミック・データ・サイエンティスト」、「ポリシー・プランナー」、「リージョナル・クリエーター」、「グローバル・アナリスト」、「ソーシャル・エコノミスト」、「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」といった7種類の「プログラム」を設けて、1人ひとりの学生が自らの卒業後の進路を意識しながら本学部の応用科目を熟慮のうえで選択し履修することを求めるようにしている。

上記のほか、本学および本学部ではキャリア教育について以下のような仕組みを設けている。

基幹教育科目の総合教養科目のなかには、12の「キャリアデザイン科目」が用意される。そして当学部は、総合教養科目の中からの10単位以上の修得に加えて、基幹教育科目全体から選択で10単位以上を習得することを卒業の要件としている。加えて本学部では、上記「6-I」に記した『履修ガイド』や新入生ガイダンスをとおして、「キャリアデザイン科目」の履修を学生に促すこととなる。

また、社会的・職業的自立に関する指導は主として本学部の専門科目におけるもろもろの演習（とくに「専門演習1」と「専門演習2」）を通じて、問題の解決を志向する能力および態度を涵養することにより実施する。

以上のように本学部では、基幹教育科目と専門教育科目の両方を通じて、学生に対するキャリア教育とキャリア形成を系統的かつ段階的に行なう。

イ 教育課程外の取組について

大阪公立大学・大阪公立大学院設置の趣旨等を記載した書類参照。

ウ 適切な体制の整備について

本学部におけるキャリア教育とキャリア形成のさらなる充実に向けて、学部FD研修会およびSD研修会では、キャリア教育の改善を重点的な主題のひとつとして掲げる。これにより、キャリア教育・キャリア形成に対する教職員の関心を向上させる。

日本企業への就職を志望する外国人留学生についてはとくに、新大学のキャリア支援部門と連携して、就職活動をするうえでの基本的な情報や注意事項を伝えるためのセミナーを実施する予定である。

大阪公立大学 経済学部

設置の趣旨等を記載した書類 添付資料

資料 1	経済学部プログラム別カリキュラムマップ	P.2
資料 2	卒業要件	P.9
資料 3	経済学部専門科目 科目配置表 (全科目)	P.10
資料 4-1	履修モデル (ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト)	P.11
資料 4-2	履修モデル (エコノミック・データ・サイエンティスト)	P.12
資料 4-3	履修モデル (ポリシー・プランナー)	P.13
資料 4-4	履修モデル (リージョナル・クリエイター)	P.14
資料 4-5	履修モデル (グローバル・アナリスト)	P.15
資料 4-6	履修モデル (ソーシャル・エコノミスト)	P.16
資料 4-7	履修モデル (マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト)	P.17
資料 5-1	教育実習施設一覧	P.18
資料 5-2	大阪府教育委員会、大阪市教育委員会実習受入 承諾書	P.31
資料 6	経済学部キャンパスの遷移	P.48

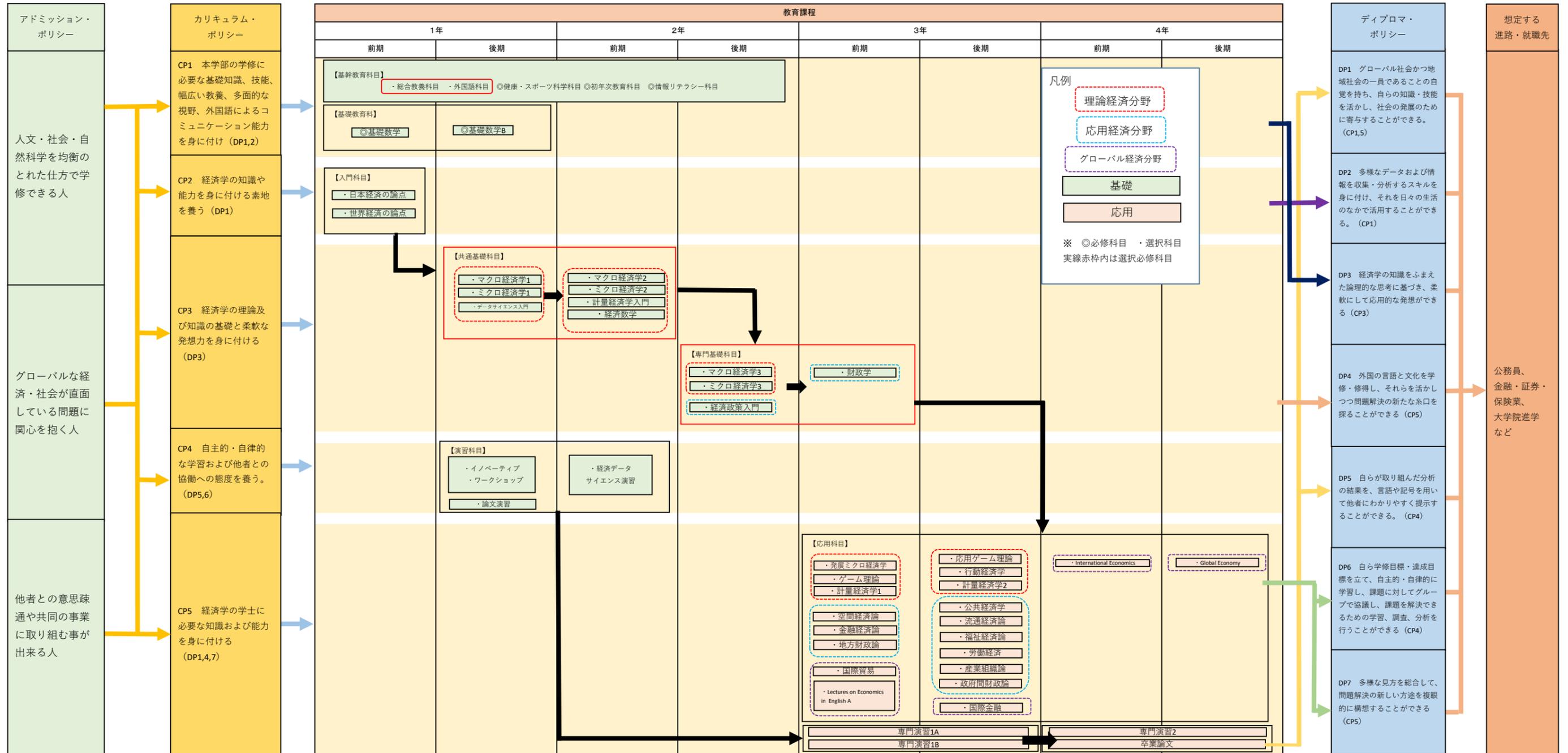
経済学部 経済学科 カリキュラムマップ〈★ジェネラル・プラティカル・エコノミスト〉

【設置の趣旨：背景・必要性】

- 「人工知能（AI）」やInternet of Thingsの進歩に代表される情報通信技術の飛躍的な発展は、個人情報の保護や情報へのアクセスの格差といった倫理上の重大な問題を提起している。
 - 少子高齢化は、日本に限らず先進国と新興国に共通する課題であり、社会保障の財政基盤の大胆な見直しが必要と迫られている。
 - 地球温暖化に代表される気候危機は、「持続可能な成長」という既成の観念を超える革新的なエネルギー利用と経済・社会発展の構想を立てることを現在の世代に要求している。
- 上記の背景を踏まえ、社会に貢献していくためには
- グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りして提案する能力を身に付けた卒業生を社会に送り出す必要がある。
 - グローバルな視野と長期の視点から大阪の発展を展望し支える人を育成する必要がある。
 - データ分析能力と異文化間コミュニケーション能力とを兼ね備えつつ問題の解決策を志向する能動的なエコノミストを育てる必要がある。
- これらの必要性を満たすことのできる「Active Global Economist（AGE）：能動的なグローバル・エコノミスト」の養成を本学部の設置の趣旨とする。

【養成する人材像】

- 本学部の教育目標を、「Active Global Economist（AGE）：能動的なグローバル・エコノミスト」の育成に置く。
- AGEとは、経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取り的に提案することのできる人を指す。なお、ディプロマ・ポリシーに従い、以下の7種類のプログラムを設けている。
- 1) 「ジェネラル・プラティカル・エコノミスト」向けプログラム
 - 2) 「エコミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム
 - 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム
 - 4) 「リジョナル・クリエイター」向けプログラム
 - 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム
 - 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム
 - 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム



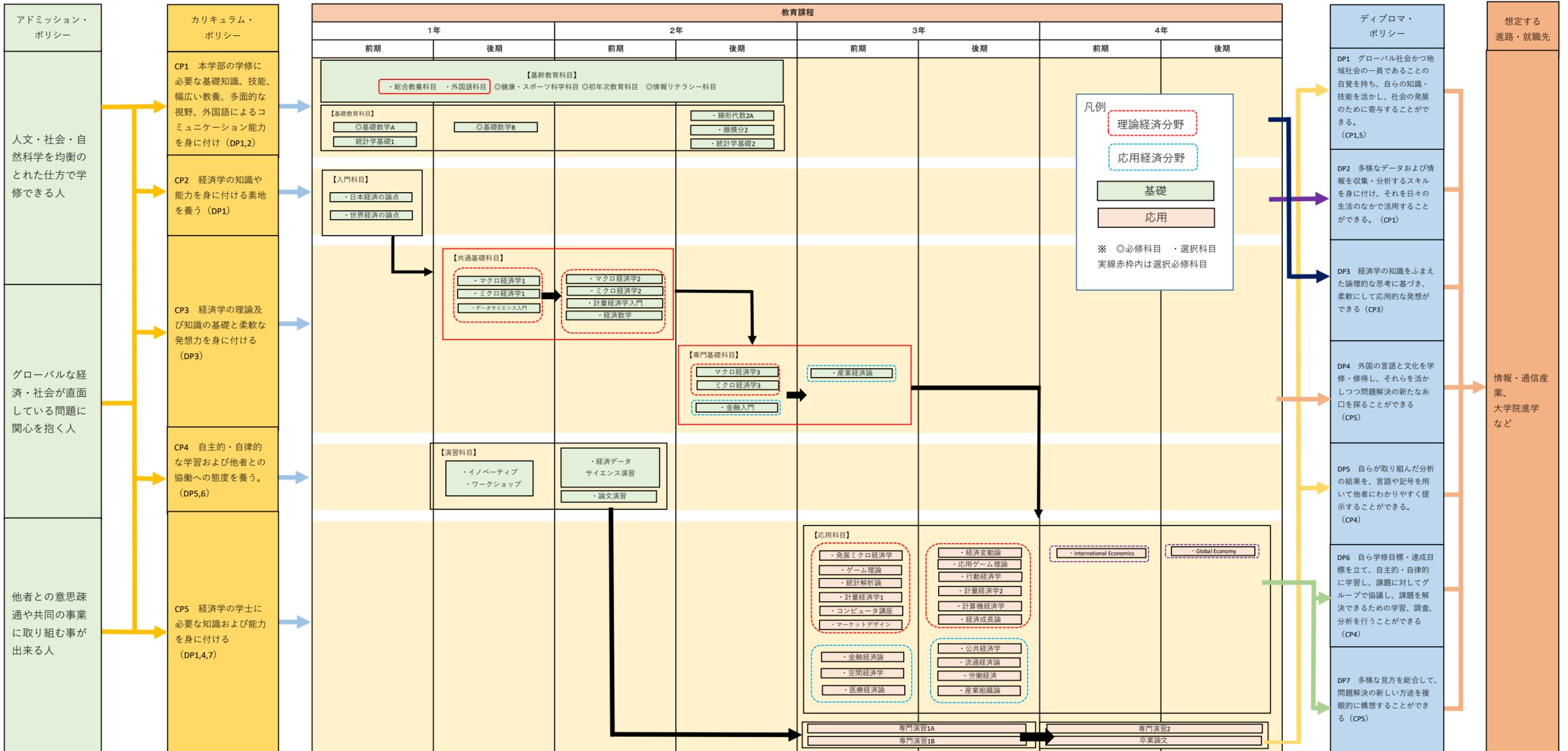
経済学部 経済学科 カリキュラムマップ (★エコノミック・データ・サイエンティスト)

【設置の趣旨：背景・必要性】

- 「人工知能 (AI)」やInternet of Thingsの進歩に代表される情報通信技術の飛躍的な発展は、個人情報の保護や情報へのアクセスの格差といった倫理上の重大な問題を提起している。
 - 少子高齢化は、日本に限らず先進国と新興国に共通する課題であり、社会保障の財政基盤の大胆な見直しが必要と迫られている。
 - 地球温暖化に代表される気候危機は、「持続可能な成長」という既成の観念を超える革新的なエネルギー利用と経済・社会発展の構想を立てることを現在の世代に要求している。
- 上記の背景を踏まえ、社会に貢献していくためには
- グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りして提案する能力を身に付けた卒業生を社会に送り出す必要がある。
 - グローバルな視野と長期の視点から大阪の発展を展望し支える人を育成する必要がある。
 - データ分析能力と異文化間コミュニケーション能力とを兼ね備えつつ問題の解決策を志向する能動的なエコノミストを育てる必要がある。
- これらの必要性を満たすことのできる「Active Global Economist (AGE)：能動的なグローバル・エコノミスト」の養成を本学部の設置の趣旨とする。

【養成する人材像】

- 本学部の教育目標を、「Active Global Economist (AGE)：能動的なグローバル・エコノミスト」の育成に置く。
- AGEとは、経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人を指す。なお、ディプロマ・ポリシーに従い、以下の7種類のプログラムを設けている。
- 1) 「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」向けプログラム
 - 2) 「エコノミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム
 - 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム
 - 4) 「リージョナル・クリエイター」向けプログラム
 - 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム
 - 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム
 - 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム



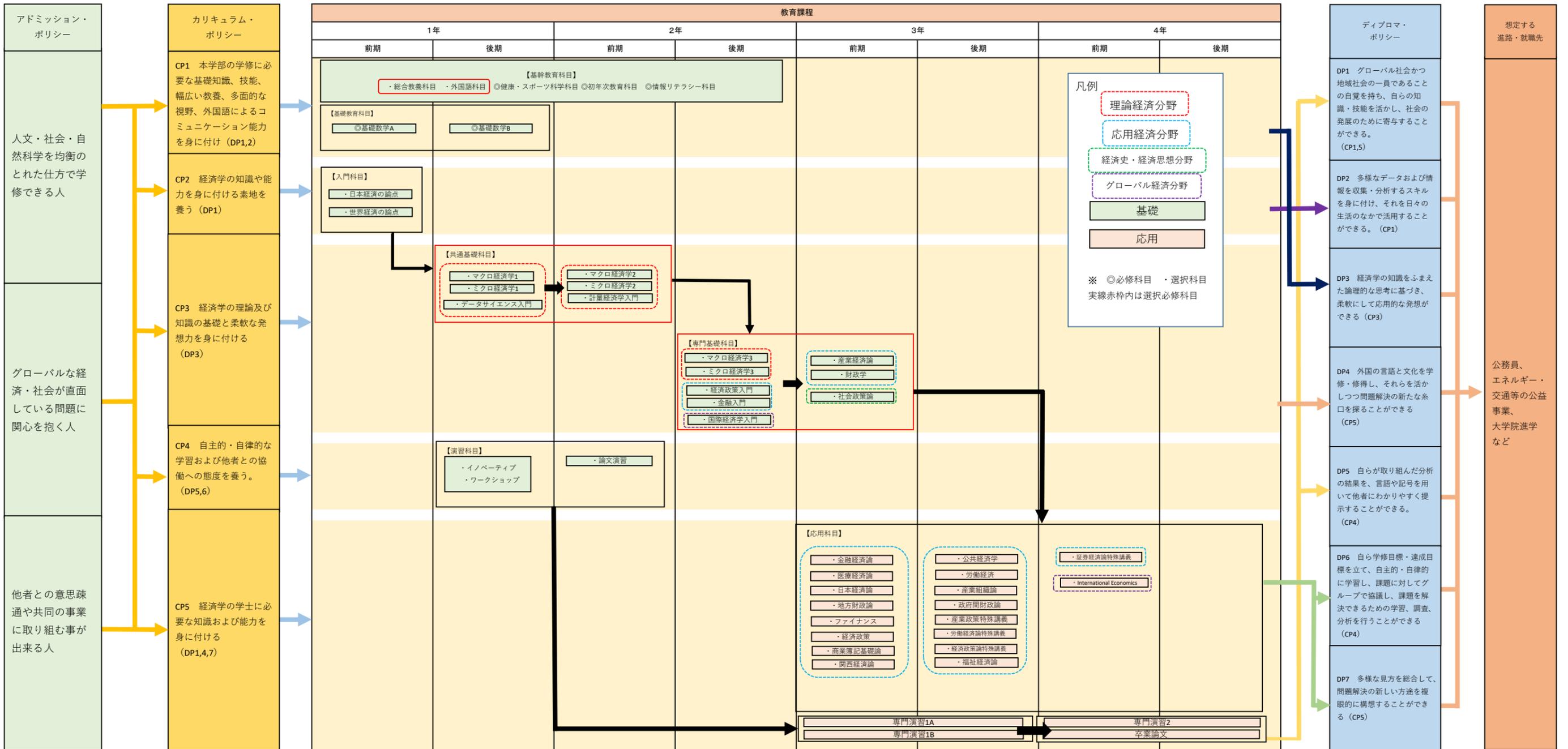
経済学部 経済学科 カリキュラムマップ(★ポリシー・プランナー)

【設置の趣旨：背景・必要性】

- 「人工知能 (AI)」やInternet of Thingsの進歩に代表される情報通信技術の飛躍的な発展は、個人情報の保護や情報へのアクセスの格差といった倫理上の重大な問題を提起している。
 - 少子高齢化は、日本に限らず先進国と新興国に共通する課題であり、社会保障の財政基盤の大胆な見直しが必要と迫られている。
 - 地球温暖化に代表される気候危機は、「持続可能な成長」という既成の観念を超える革新的なエネルギー利用と経済・社会発展の構想を立てることを現在の世代に要求している。
- 上記の背景を踏まえ、社会に貢献していくためには
- グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りして提案する能力を身に付けた卒業生を社会に送り出す必要がある。
 - グローバルな視野と長期の視点から大阪の発展を展望し支える人を育成する必要がある。
 - データ分析能力と異文化間コミュニケーション能力とを兼ね備えつつ問題の解決策を志向する能動的なエコノミストを育てる必要がある。
- これらの必要性を満たすことのできる「Active Global Economist (AGE)：能動的なグローバル・エコノミスト」の養成を本学部の設置の趣旨とする。

【養成する人材像】

- 本学部の教育目標を、「Active Global Economist (AGE)：能動的なグローバル・エコノミスト」の育成に置く。
- AGEとは、経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人を指す。なお、ディプロマ・ポリシーに従い、以下の7種類のプログラムを設けている。
- 1) 「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」向けプログラム
 - 2) 「エコミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム
 - 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム
 - 4) 「リージョナル・クリエイター」向けプログラム
 - 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム
 - 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム
 - 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム



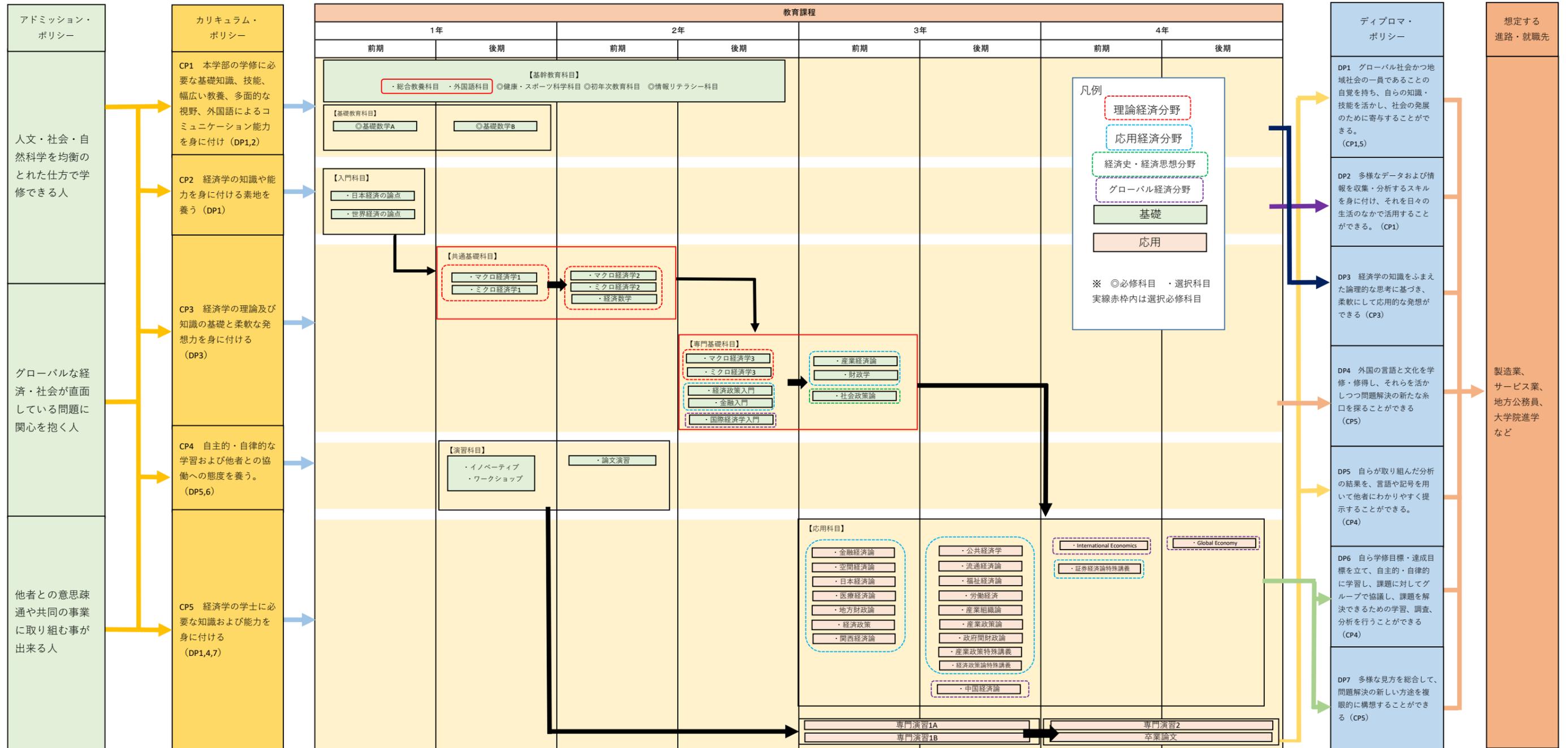
経済学部 経済学科 カリキュラムマップ〈★リージョナル・クリエイター〉

【設置の趣旨：背景・必要性】

- 「人工知能（AI）」やInternet of Thingsの進歩に代表される情報通信技術の飛躍的な発展は、個人情報の保護や情報へのアクセスの格差といった倫理上の重大な問題を提起している。
 - 少子高齢化は、日本に限らず先進国と新興国に共通する課題であり、社会保障の財政基盤の大胆な見直しが必要と迫られている。
 - 地球温暖化に代表される気候危機は、「持続可能な成長」という既成の観念を超える革新的なエネルギー利用と経済・社会発展の構想を立てることを現在の世代に要求している。
- 上記の背景を踏まえ、社会に貢献していくためには
- グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りして提案する能力を身に付けた卒業生を社会に送り出す必要がある。
 - グローバルな視野と長期の視点から大阪の発展を展望し支える人を育成する必要がある。
 - データ分析能力と異文化間コミュニケーション能力とを兼ね備えつつ問題の解決策を志向する能動的なエコノミストを育てる必要がある。
- これらの必要性を満たすことのできる「Active Global Economist（AGE）：能動的なグローバル・エコノミスト」の養成を本学部の設置の趣旨とする。

【養成する人材像】

- 本学部の教育目標を、「Active Global Economist（AGE）：能動的なグローバル・エコノミスト」の育成に置く。
- AGEとは、経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人を指す。なお、ディプロマ・ポリシーに従い、以下の7種類のプログラムを設けている。
- 1) 「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」向けプログラム
 - 2) 「エコミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム
 - 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム
 - 4) 「リージョナル・クリエイター」向けプログラム
 - 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム
 - 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム
 - 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム



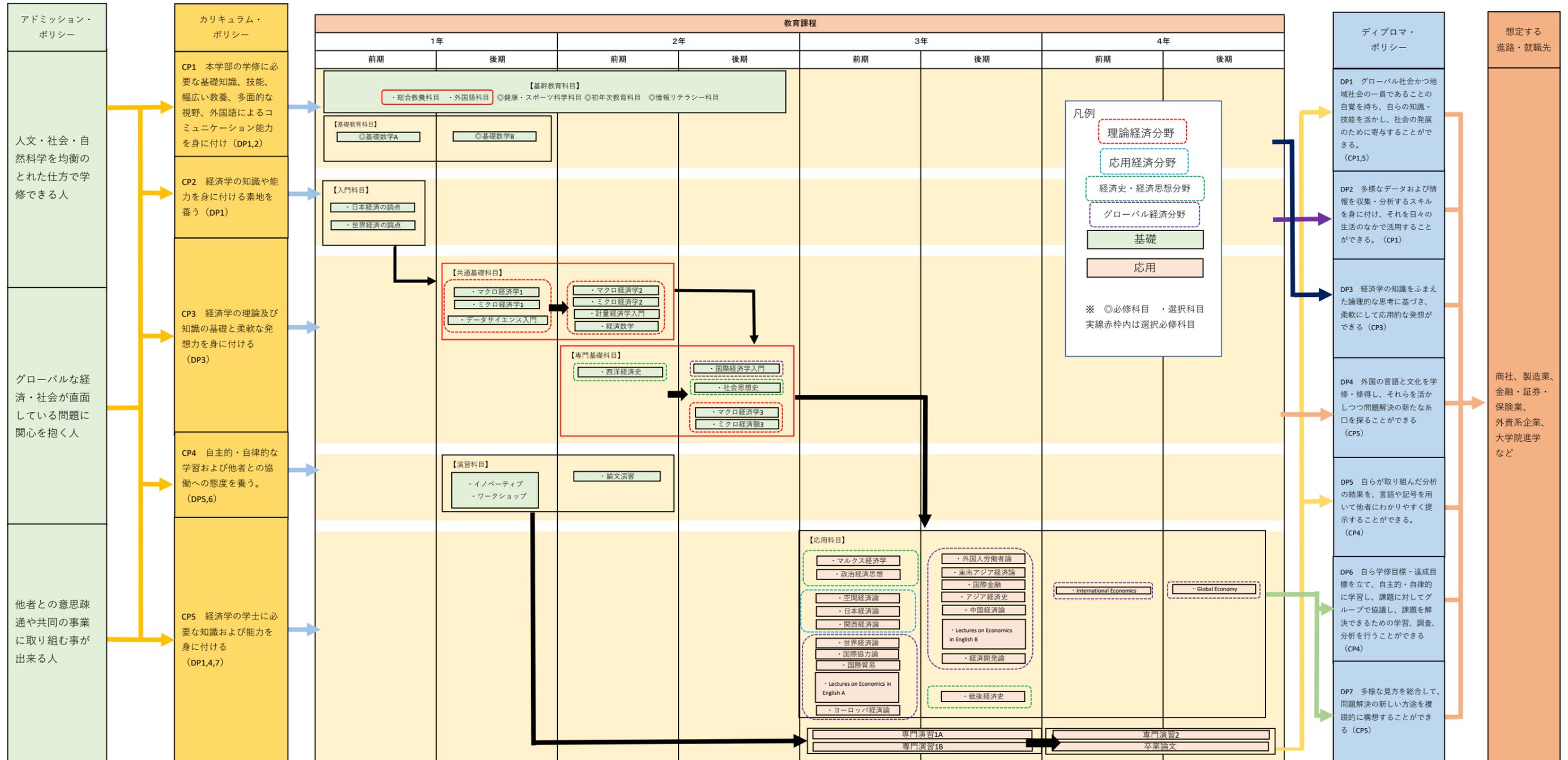
経済学部 経済学科 カリキュラムマップ〈★グローバル・アナリスト〉

【設置の趣旨：背景・必要性】

- 「人工知能（AI）」やInternet of Thingsの進歩に代表される情報通信技術の飛躍的な発展は、個人情報の保護や情報へのアクセスの格差といった倫理上の重大な問題を提起している。
 - 少子高齢化は、日本に限らず先進国と新興国に共通する課題であり、社会保障の財政基盤の大胆な見直しが必要と迫られている。
 - 地球温暖化に代表される気候危機は、「持続可能な成長」という既成の観念を超える革新的なエネルギー利用と経済・社会発展の構想を立てることを現在の世代に要求している。
- 上記の背景を踏まえ、社会に貢献していくためには
- グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りして提案する能力を身に付けた卒業生を社会に送り出す必要がある。
 - グローバルな視野と長期の視点から大阪の発展を展望し支える人を育成する必要がある。
 - データ分析能力と異文化間コミュニケーション能力とを兼ね備えつつ問題の解決策を志向する能動的なエコノミストを育てる必要がある。
- これらの必要性を満たすことのできる「Active Global Economist（AGE）：能動的なグローバル・エコノミスト」の養成を本学部の設置の趣旨とする。

【養成する人材像】

- 本学部の教育目標を、「Active Global Economist（AGE）：能動的なグローバル・エコノミスト」の育成に置く。
- AGEとは、経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人を指す。なお、ディプロマ・ポリシーに従い、以下の7種類のプログラムを設けている。
- 1) 「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」向けプログラム
 - 2) 「エコノミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム
 - 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム
 - 4) 「リージョナル・クリエイター」向けプログラム
 - 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム
 - 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム
 - 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム



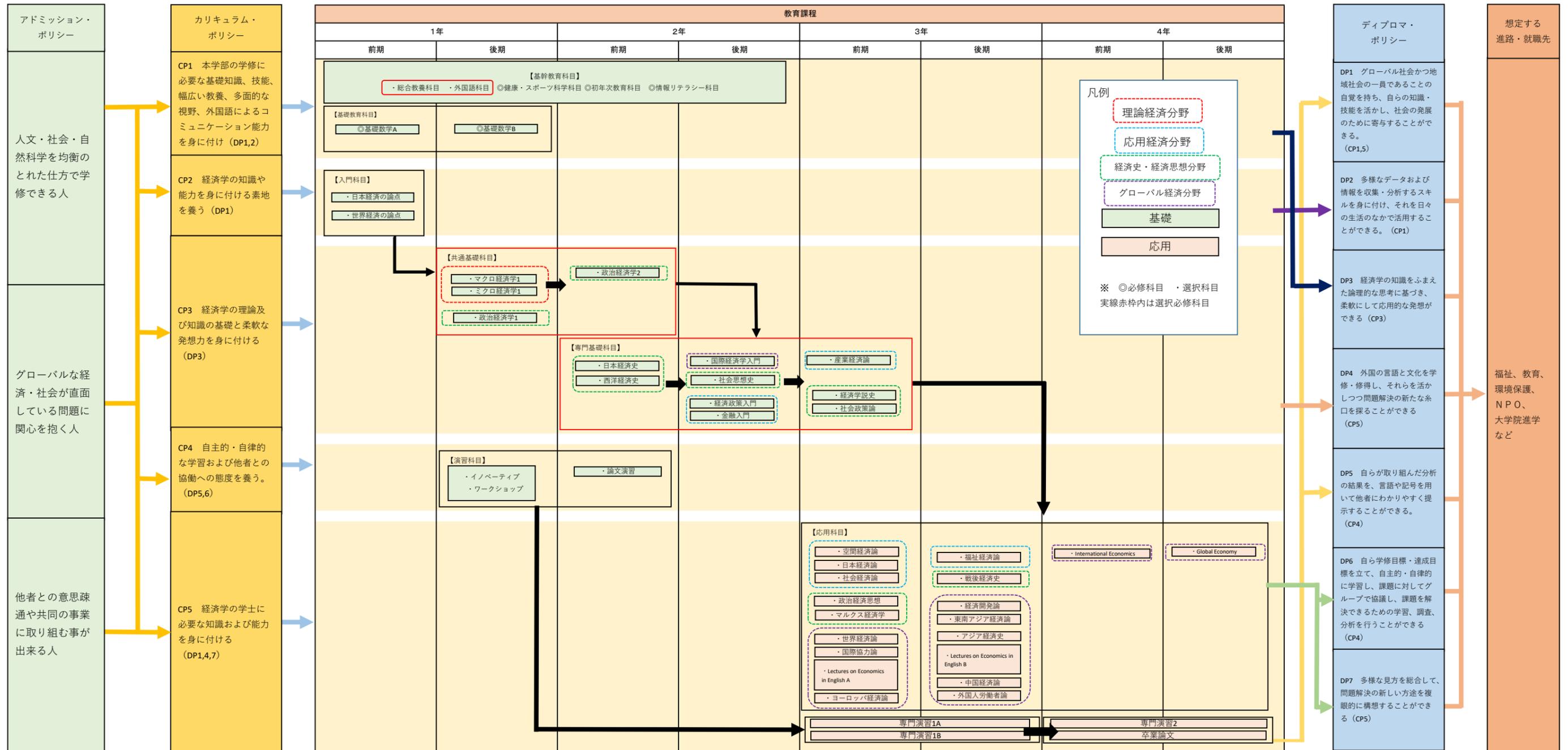
経済学部 経済学科 カリキュラムマップ (★ソーシャル・エコノミスト)

【設置の趣旨：背景・必要性】

- 「人工知能 (AI)」やInternet of Thingsの進歩に代表される情報通信技術の飛躍的な発展は、個人情報の保護や情報へのアクセスの格差といった倫理上の重大な問題を提起している。
 - 少子高齢化は、日本に限らず先進国と新興国に共通する課題であり、社会保障の財政基盤の大胆な見直しが必要と迫られている。
 - 地球温暖化に代表される気候危機は、「持続可能な成長」という既成の観念を超える革新的なエネルギー利用と経済・社会発展の構想を立てることを現在の世代に要求している。
- 上記の背景を踏まえ、社会に貢献していくためには
- グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りして提案する能力を身に付けた卒業生を社会に送り出す必要がある。
 - グローバルな視野と長期の視点から大阪の発展を展望し支える人を育成する必要がある。
 - データ分析能力と異文化間コミュニケーション能力とを兼ね備えつつ問題の解決策を志向する能動的なエコノミストを育てる必要がある。
- これらの必要性を満たすことのできる「Active Global Economist (AGE)：能動的なグローバル・エコノミスト」の養成を本学部の設置の趣旨とする。

【養成する人材像】

- 本学部の教育目標を、「Active Global Economist (AGE)：能動的なグローバル・エコノミスト」の育成に置く。
- AGEとは、経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取り的に提案することのできる人を指す。なお、ディプロマ・ポリシーに従い、以下の7種類のプログラムを設けている。
- 1) 「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」向けプログラム
 - 2) 「エコノミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム
 - 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム
 - 4) 「リージョナル・クリエイター」向けプログラム
 - 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム
 - 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム
 - 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム



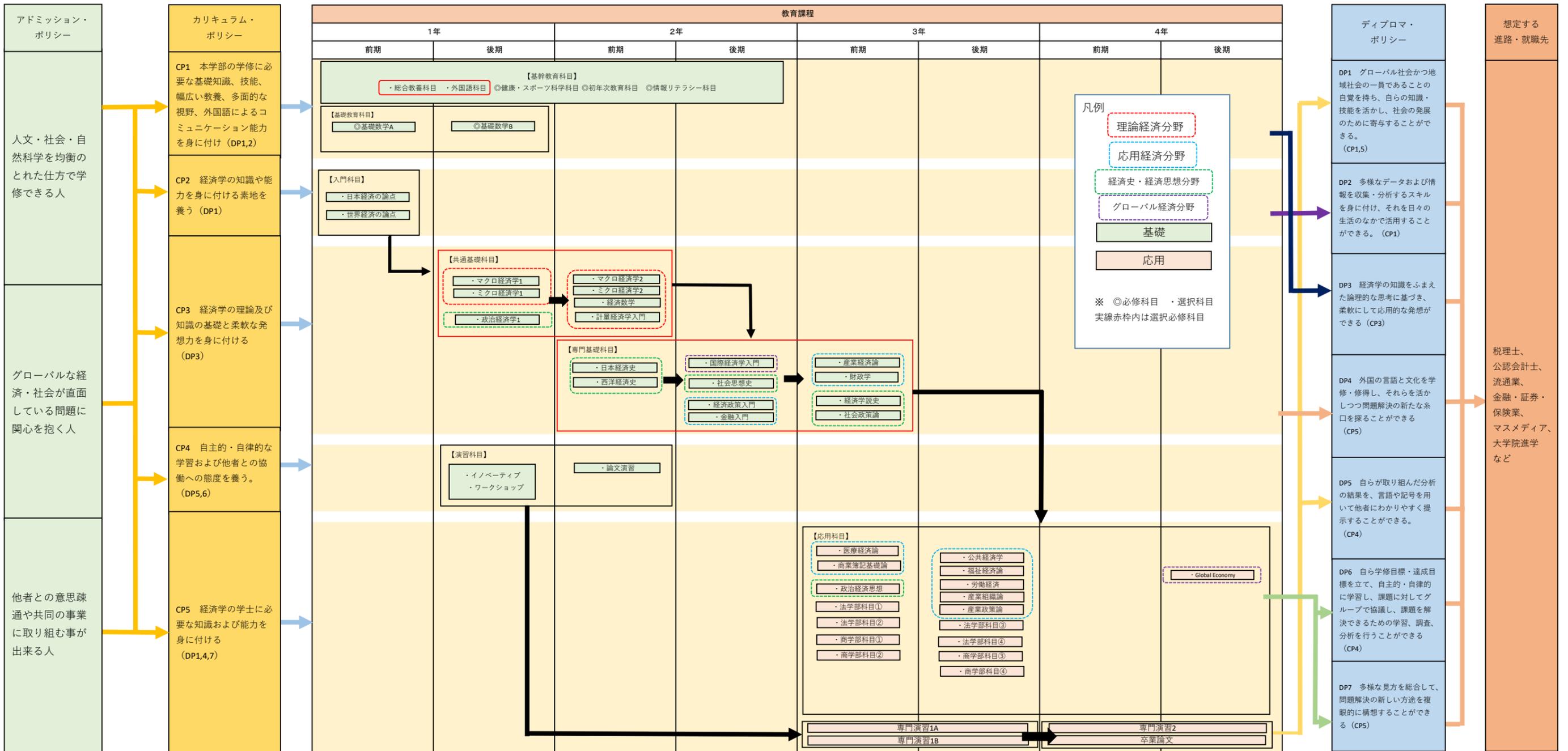
経済学部 経済学科 カリキュラムマップ〈★マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト〉

【設置の趣旨：背景・必要性】

- 「人工知能（AI）」やInternet of Thingsの進歩に代表される情報通信技術の飛躍的な発展は、個人情報の保護や情報へのアクセスの格差といった倫理上の重大な問題を提起している。
 - 少子高齢化は、日本に限らず先進国と新興国に共通する課題であり、社会保障の財政基盤の大胆な見直しが必要と迫られている。
 - 地球温暖化に代表される気候危機は、「持続可能な成長」という既成の観念を超える革新的なエネルギー利用と経済・社会発展の構想を立てることを現在の世代に要求している。
- 上記の背景を踏まえ、社会に貢献していくためには
- グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取りして提案する能力を身に付けた卒業生を社会に送り出す必要がある。
 - グローバルな視野と長期の視点から大阪の発展を展望し支える人を育成する必要がある。
 - データ分析能力と異文化間コミュニケーション能力とを兼ね備えつつ問題の解決策を志向する能動的なエコノミストを育てる必要がある。
- これらの必要性を満たすことのできる「Active Global Economist（AGE）：能動的なグローバル・エコノミスト」の養成を本学部の設置の趣旨とする。

【養成する人材像】

- 本学部の教育目標を、「Active Global Economist（AGE）：能動的なグローバル・エコノミスト」の育成に置く。
- AGEとは、経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人を指す。なお、ディプロマ・ポリシーに従い、以下の7種類のプログラムを設けている。
- 1) 「ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト」向けプログラム
 - 2) 「エコミック・データ・サイエンティスト」向けプログラム
 - 3) 「ポリシー・プランナー」向けプログラム
 - 4) 「リージョナル・クリエイター」向けプログラム
 - 5) 「グローバル・アナリスト」向けプログラム
 - 6) 「ソーシャル・エコノミスト」向けプログラム
 - 7) 「マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト」向けプログラム



卒業要件

科目区分		指定単位数		備考
基 幹 教 育 科 目	① 初年次教育科目	必修2単位	他 1 0 単 位 を 選 択 必 修	—
	② 情報リテラシー科目	必修2単位		—
	③ 英語	必修6単位		—
	④ 初修外国語	必修4単位		—
	⑤ 健康・スポーツ科学科目	必修2単位		—
		必修1単位		—
	⑥ 総合教養科目	選択必修10単位		—
	小計	37単位		—
基礎教育科目 (「基礎数学A」「基礎数学B」 の4単位は必修)	合計88単位修得		経済学部 指定8科目のみ (「基礎数学A」「基礎数学B」 は必修科目)	
入門科目			2科目を提供	
共通基礎科目			9科目を提供 選択必修8単位以上	
専門基礎科目			12科目を提供 選択必修6単位以上	
応用科目			50科目を提供	
演習科目			7科目を提供	
商学部・法学部の専門科目			上限16単位まで修得可能	
小計			88単位	
合計	125単位		—	

履修モデル（ジェネラル・プラクティカル・エコノミスト）

卒業後のキャリア・イメージ：公務員、金融・証券・保険業等

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計	卒業要件 単位数					
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位							
基幹教育科目	初年次	基幹ゼミナール	2						2	37単位 以上					
	総合教養	総合教養科目	2	総合教養科目	2						20				
		総合教養科目	2	総合教養科目	2										
		総合教養科目	2	総合教養科目	2										
		総合教養科目	2	総合教養科目	2										
外国語	英語A	1	英語2年	1					10						
	英語A	1	英語2年	1											
	英語B	1	初修外国語	1											
	英語B	1	初修外国語	1											
その他	情報リテラシー	2							5						
	健康・スポーツ科学概論	1													
		14科目	12	9	10科目	8	8	0科目	0	0	0	0	0	37	
科教基 目育礎	基礎数学A	2												4	4
	基礎数学B	2												4	
		2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	0	0	0	4	
専門科目	科入 目門	日本経済の論点	2												4
		世界経済の論点	2												
	科通 目基 礎	マクロ経済学1	2	計量経済学入門	2										14
		ミクロ経済学1	2	マクロ経済学2	2										
		経済学	2	ミクロ経済学2	2										
			2	データサイエンス入門	2										
	科専 目基 礎			マクロ経済学3	2	財政学	2								8
				ミクロ経済学3	2										
				2	2										
	科応 目目 的					発展ミクロ経済学	2	Global Economy	2						40
					ゲーム理論	2	International Economics	2							
					応用ゲーム理論	2									
					行動経済学	2									
					公共経済学	2									
					福祉経済論	2									
					計量経済学1	2									
					Lecture on Economics in English A	2									
					金融経済論	2									
					空間経済論	2									
					流通経済論	2									
					労働経済	2									
				産業組織論	2										
				地方財政論	2										
				政府間財政論	2										
				国際貿易	2										
				国際金融	2										
				計量経済学2	2										
科演 目習	イノベーション・ワークショップ	2	論文演習	2	専門演習1A	4	専門演習2	4						20	
			経済データサイエンス演習	2			卒業論文	6							
		6科目	4	8	9科目	10	8	20科目	18	24	4科目	2	12	86	
単位総計		22科目	18	19	19科目	18	16	20科目	18	24	4科目	2	12	127	125単位以上

履修モデル (エコノミック・データ・サイエンティスト)

卒業後のキャリア・イメージ: 情報・通信産業等

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計	卒業要件 単位数						
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位								
基幹教育科目	初年次	基幹ゼミナール	2						2	37単位 以上						
	総合教養	総合教養科目	2	総合教養科目	2						20					
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
外国語	英語A	1	英語2年	1					10							
	英語A	1	英語2年	1												
	英語B	1	初修外国語	1												
	英語B	1	初修外国語	1												
その他	情報リテラシー	2							5							
	健康・スポーツ科学概論	2														
		14科目	11	10	10科目	8	8	0科目	0	0	0	0	0	0	0	37
科教基 目育礎	基礎数学A	2	線形代数2A	2											12	
	基礎数学B	2	微積分2	2											12	
	統計学基礎1	2	統計学基礎2	2												
		2科目	4	2	0科目	0	6	0科目	0	0	0	0	0	0	12	
専門科目	入門科目	日本経済の論点	2												4	
		世界経済の論点	2													
	科基共 目礎通	マクロ経済学1	2	経済数学	2										14	
		ミクロ経済学1	2	計量経済学入門	2											
		データサイエンス入門	2	マクロ経済学2	2											
	科基専 目礎門			マクロ経済学3	2	産業経済論	2								8	
			ミクロ経済学3	2												
			金融入門	2												
応用科目					経済成長論	2	International Economics	2						88単位 以上		
					経済変動論	2	Global Economy	2								
					発展ミクロ経済学	2										
					ゲーム理論	2										
					応用ゲーム理論	2										
					行動経済学	2										
					マーケットデザイン	2										
					計算機経済学	2										
					統計解析論	2										
					計量経済学1	2										
					公共経済学	2										
					金融経済論	2										
					空間経済学	2										
					流通経済論	2										
				労働経済	2											
				産業組織論	2											
				医療経済学	2											
				計量経済学2	2											
				コンピュータ講座	2											
演習科目	イノベティブ・ワークショップ	2	論文演習	2	専門演習1A	4	専門演習2	4						20		
			経済データサイエンス演習	2			卒業論文	6								
		6科目	4	8	9科目	12	6	21科目	20	24	4科目	2	12	88		
単位総計		23科目	19	20	22科目	20	20	6科目	20	24	4科目	2	12	137	125単位以上	

履修モデル (ポリシー・プランナー)

卒業後のキャリア・イメージ: 公務員、エネルギー・交通などの公益事業等

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計	卒業要件 単位数					
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位							
基幹教育科目	初年次	基幹ゼミナール	2						2	37単位 以上					
	総合教養	総合教養科目	2	総合教養科目	2						20				
		総合教養科目	2	総合教養科目	2										
		総合教養科目	2	総合教養科目	2										
		総合教養科目	2	総合教養科目	2										
外国語	英語A	1	英語2年	1					10						
	英語A	1	英語2年	1											
	英語B	1	初修外国語	1											
	英語B	1	初修外国語	1											
その他	情報リテラシー	2							5						
	健康・スポーツ科学概論	2													
		健康・スポーツ科学実習	1												
	14科目	11	10	10科目	8	8	0科目	0	0	0	0	37			
科教基 目育礎	基礎数学A	2									4				
	基礎数学B	2													
	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	0	4				
専門科目	科入 目門	日本経済の論点	2								4				
		世界経済の論点	2												
	共 科 通 目 基 礎	マクロ経済学1	2	計量経済学入門	2						12				
		ミクロ経済学1	2	マクロ経済学2	2										
		データサイエンス入門	2	ミクロ経済学2	2										
専 門 基 礎 科 目			マクロ経済学3	2	財政学	2				16					
			ミクロ経済学3	2	産業経済論	2									
			経済政策入門	2	社会政策論	2									
			金融入門	2											
			国際経済学入門	2											
専 門 科 目	応 用 科 目					金融経済論	2	International Economics	2		88単位 以上				
						福祉経済論	2	証券経済論特殊講義	2						
						労働経済	2								
						産業組織論	2								
						医療経済学	2								
						日本経済論	2								
						経済政策	2								
						公共経済学	2								
						地方財政論	2								
						政府間財政学	2								
						関西経済論	2								
						商業簿記基礎論	2								
				産業政策特殊講義	2										
				経済政策論特殊講義	2										
				労働経済論特殊講義	2										
				ファイナンス	2										
演 習 科 目	イノベティブ・ワークショップ		2	論文演習	2	専門演習1A	4	専門演習2	4		18				
								卒業論文	6						
		6科目	4	8	9科目	8	10	20科目	22	20	4科目	4	10	86	
単位総計		22科目	17	20	19科目	16	18	20科目	22	20	4科目	4	10	127	125単位以上

履修モデル（リージョナル・クリエイター）
卒業後のキャリア・イメージ：製造業、サービス業、地方公務員等

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計	卒業要件 単位数						
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位								
基幹教育科目	初年次	基幹ゼミナール	2						2	37単位 以上						
	総合教養	総合教養科目	2	総合教養科目	2						20					
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
外国語	英語A	1	英語2年	1					10							
	英語A	1	英語2年	1												
	英語B	1	初修外国語	1												
	英語B	1	初修外国語	1												
その他	情報リテラシー	2							5							
	健康・スポーツ科学概論	2														
		14科目	12	9	10科目	8	8	0科目	0	0	0	0	0	0	37	
科教基 目育礎	基礎数学A	2													4	
	基礎数学B	2														
		2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	0	0	0	0	4	
専門科目	科入 目門	日本経済の論点	2												4	
		世界経済の論点	2													
	科基共 目礎通	マクロ経済学1	2	経済数学	2										10	
		ミクロ経済学1	2	マクロ経済学2	2											
	専門基 礎科 目					マクロ経済学3	2	財政学	2						16	
						ミクロ経済学3	2	産業経済論	2							
					経済政策入門	2	社会政策論	2								
					金融入門	2										
					国際経済学入門	2										
応用 科 目							公共経済学	2	Global Economy	2				40		
							金融経済論	2	International Economics	2						
							空間経済学	2	証券経済論特殊講義	2						
							流通経済論	2								
							福祉経済論	2								
							日本経済論	2								
							経済政策	2								
							労働経済	2								
							産業組織論	2								
							産業政策論	2								
							医療経済論	2								
						地方財政論	2									
						政府間財政論	2									
						中国経済論	2									
						関西経済論	2									
						産業政策特殊講義	2									
						経済政策論特殊講義	2									
科演 目習	イノベティブ・ワークショップ	2	論文演習	2	専門演習1A	4			専門演習2	4				18		
								卒業論文	6							
		5科目	4	6	9科目	8	10	21科目	20	24	5科目	4	12	92		
単位総計		21科目	18	17	19科目	16	18	21科目	20	24	5科目	4	12	129	125単位以上	

履修モデル (グローバル・アナリスト)

卒業後のキャリア・イメージ: 商社、製造業、金融・証券・保険業、外資系企業等

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計	卒業要件 単位数				
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位						
基幹教育科目	初年次	基幹ゼミナール	2							2	37単位 以上			
	総合教養	総合教養科目	2	総合教養科目	2							20		
		総合教養科目	2	総合教養科目	2									
		総合教養科目	2	総合教養科目	2									
		総合教養科目	2	総合教養科目	2									
外国語	英語A	1	英語2年	1						10				
	英語A	1	英語2年	1										
	英語B	1	初修外国語	1										
	英語B	1	初修外国語	1										
その他	情報リテラシー	2								5				
	健康・スポーツ科学概論	2												
		健康・スポーツ科学実習	1											
	14科目	11	10	10科目	8	8	0科目	0	0	0	0	37		
科教基 目育礎	基礎数学A	2									4			
	基礎数学B	2												
	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	0	0	4		
専門科目	科入 目門	日本経済の論点	2								4			
		世界経済の論点	2											
	共通基 礎科 目	マクロ経済学1	2	経済数学	2						14			
		ミクロ経済学1	2	計量経済学入門	2									
		データサイエンス入門	2	マクロ経済学2	2									
専門基 礎科 目			社会思想史	2						10				
			西洋経済史	2										
			マクロ経済学3	2										
			ミクロ経済学3	2										
応用 科 目			国際経済学入門	2			マルクス経済学	2	Global Economy	2	2	88単位 以上		
							日本経済論	2	International Economics	2				
							世界経済論	2						
							アジア経済史	2						
							東南アジア経済論	2						
							Lecture on Economics in EnglishA	2						
							空間経済学	2						
							経済開発論	2						
							国際協力論	2						
							国際貿易	2						
							国際金融	2						
							戦後経済史	2						
							外国人労働者論	2						
							政治経済思想	2						
						Lecture on Economics in EnglishB	2							
						ヨーロッパ経済論	2							
						中国経済論	2							
						関西経済論	2							
科演 目習	イノベーション・ワークショップ	2	論文演習	2	専門演習1A	4	専門演習2	4	卒業論文	6	18			
	6科目	6	6	10科目	12	8	19科目	20	20	4科目	2	12	90	
単位総計	22科目	19	18	20科目	20	16	11科目	20	20	4科目	2	12	127	125単位以上

履修モデル (ソーシャル・エコノミスト)

卒業後のキャリア・イメージ: 福祉、教育、環境保護、NPO等

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計	卒業要件 単位数						
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位								
基幹教育科目	初年次	基幹ゼミナール	2						2	37単位 以上						
	総合教養	総合教養科目	2	総合教養科目	2						20					
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
		総合教養科目	2	総合教養科目	2											
外国語	英語A	1	英語2年	1					10							
	英語A	1	英語2年	1												
	英語B	1	初修外国語	1												
	英語B	1	初修外国語	1												
その他	情報リテラシー	2							5							
	健康・スポーツ科学概論	2														
		14科目	12	9	10科目	8	8	0科目	0	0	0科目	0	0	0	0	37
科教基 目育礎	基礎数学A	2														4
	基礎数学B	2														
		2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	0科目	0	0	0	0	4
専門科目	科入 目門	日本経済の論点	2													4
		世界経済の論点	2													
	科基共 目礎通	マクロ経済学1	2	政治経済学2	2											8
		ミクロ経済学1	2													
		政治経済学1	2													
専門基 礎科目				社会思想史	2	経済学説史	2								18	
				西洋経済史	2	産業経済論	2									
				日本経済史	2	社会政策論	2									
				経済政策入門	2											
				金融入門	2											
				国際経済学入門	2											
応用 科目						マルクス経済学	2	Global Economy							38	
						空間経済学	2	International Economics	2	2						
						福祉経済論	2									
						日本経済論	2									
						世界経済論	2									
						アジア経済史	2									
						東南アジア経済論	2									
						Lecture on Economics in EnglishA	2									
						経済開発論	2									
						国際協力論	2									
						戦後経済史	2									
						外国人労働者論	2									
						政治経済思想	2									
					Lecture on Economics in EnglishB	2										
					社会経済論	2										
					ヨーロッパ経済論	2										
					中国経済論	2										
演習 科目	イノベティブ・ワークショップ	2	論文演習	2	専門演習1A	4	専門演習2	4	4	4	6	6	6	6	18	
		6科目	4	8	8科目	8	8	21科目	24	20	4科目	2	12	90		
単位総計		22科目	18	19	18科目	16	16	20科目	24	20	4科目	2	12	127	125単位以上	

履修モデル (マルチ・ディシプリナリー・エコノミスト)

卒業後のキャリア・イメージ: 税理士・公認会計士、流通業、金融・証券・保険業、マスメディア等

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計	卒業要件 単位数								
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位										
基幹教育科目	初年次	基幹ゼミナール	2						2	37単位 以上								
	総合教養	総合教養科目	2	総合教養科目	2						20							
		総合教養科目	2	総合教養科目	2													
		総合教養科目	2	総合教養科目	2													
		総合教養科目	2	総合教養科目	2													
外国語	英語A	1	英語2年	1					10									
	英語A	1	英語2年	1														
	英語B	1	初修外国語	1														
	英語B	1	初修外国語	1														
その他	情報リテラシー	2							5									
	健康・スポーツ科学概論	2																
			14科目	12	9	10科目	8	8	0科目	0	0	0科目	0	0	0	0	37	
科教基 目育礎	基礎数学A	2															4	
	基礎数学B	2																
			2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	0科目	0	0	0	0	4	
専門科目	科入 目門	日本経済の論点	2														4	
		世界経済の論点	2															
	共通 基礎 科目	マクロ経済学1	2	計量経済学入門	2												14	
		ミクロ経済学1	2	マクロ経済学2	2													
		政治経済学1	2	ミクロ経済学2	2													
専門 基礎 科目																20		
				社会思想史	2	財政学	2											
				西洋経済史	2	経済学説史	2											
				日本経済史	2	産業経済論	2											
				経済政策入門	2	社会政策論	2											
応用 科目				金融入門	2											34		
				国際経済学入門	2													
						福祉経済論	2	Global Economy	2									
						労働経済	2											
						産業組織論	2											
						産業政策論	2											
						医療経済学	2											
						法学部科目①	2											
						法学部科目②	2											
						商学部科目①	2											
					商学部科目②	2												
					公共経済学	2												
					政治経済思想	2												
					商業簿記基礎論	2												
					法学部科目③	2												
					法学部科目④	2												
					商学部科目③	2												
					商学部科目④	2												
演習 科目	イノベティブ・ワークショップ		論文演習	2	専門演習1A	4	専門演習2	4				卒業論文	6			18		
			6科目	4	8	11科目	14	8	21科目	22	22	3科目	0	12	0	12	94	
単位総計			22科目	18	19	21科目	22	16	21科目	22	22	3科目	0	12	0	12	131	125単位以上

大阪府立中学校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	大阪府立富田林中学校	富田林市谷川町4-30	2名

大阪府立高校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	大阪府立芥川高等学校	高槻市浦堂1-12-1	2名
2	大阪府立旭高等学校	大阪市旭区高殿5-6-41	2名
3	大阪府立芦間高等学校	守口市外島町1-43	2名
4	大阪府立阿武野高等学校	高槻市氷室町3-38-1	2名
5	大阪府立阿倍野高等学校	大阪市阿倍野区阪南町1-30-34	2名
6	大阪府立生野高等学校	松原市新堂1-552	2名
7	大阪府立池田高等学校	池田市旭丘2-2-1	2名
8	大阪府立大正白稜高等学校	大阪市大正区泉尾3-19-50	2名
9	大阪府立和泉高等学校	岸和田市土生町1-2-1	2名
10	大阪府立泉大津高等学校	泉大津市北豊中町1-1-1	2名
11	大阪府立和泉総合高等学校	和泉市富秋町1-14-4	2名
12	大阪府立泉鳥取高等学校	阪南市緑ヶ丘1-1-10	2名
13	大阪府立市岡高等学校	大阪市港区市岡元町2-12-12	2名
14	大阪府立茨木高等学校	茨木市新庄町12-1	2名
15	大阪府立茨木工科高等学校	茨木市春日5-6-41	2名
16	大阪府立茨木西高等学校	茨木市紫明園10-68	2名
17	大阪府立今宮高等学校	大阪市浪速区戎本町2-7-39	2名
18	大阪府立今宮工科高等学校	大阪市西成区出城1-1-6	2名
19	大阪府立園芸高等学校	池田市八王寺2-5-1	2名
20	大阪府立大冠高等学校	高槻市大塚町4-50-1	2名
21	大阪府教育センター附属高等学校	大阪市住吉区荻田4-1-72	2名
22	大阪府立大塚高等学校	松原市西大塚2-1005	2名
23	大阪府立大手前高等学校	大阪市中央区大手前2-1-11	2名
24	大阪府立鳳高等学校	堺市西区原田150	2名
25	大阪府立貝塚高等学校	貝塚市島中1-1-1	2名
26	大阪府立貝塚南高等学校	貝塚市橋本620	2名
27	大阪府立懐風館高等学校	羽曳野市大黒776	2名
28	大阪府立春日丘高等学校	茨木市春日2-1-2	2名
29	大阪府立交野高等学校	交野市寺南野10-1	2名
30	大阪府立門真なみはや高等学校	門真市島頭4-9-1	2名
31	大阪府立門真西高等学校	門真市柳田町29-1	2名
32	大阪府立金岡高等学校	堺市北区金岡町2651	2名
33	大阪府立河南高等学校	富田林市錦ヶ丘町1-15	2名
34	大阪府立かわち野高等学校	東大阪市新庄4-11-95	2名
35	大阪府立岸和田高等学校	岸和田市岸城町10-1	2名
36	大阪府立北かわち泉が丘高等学校	寝屋川市寝屋北町1-1	2名
37	大阪府立北千里高等学校	吹田市藤白台5-6-1	2名
38	大阪府立北野高等学校	大阪市淀川区新北野2-5-13	2名
39	大阪府立淀川清流高等学校	大阪市東淀川区豊里2-11-35	2名
40	大阪府立柴島高等学校	大阪市東淀川区柴島1-7-106	2名
41	大阪府立久米田高等学校	岸和田市額原町1100	2名
42	大阪府立高津高等学校	大阪市天王寺区餌差町10-47	2名
43	大阪府立港南造形高等学校	大阪市住之江区南港東2-5-72	2名
44	大阪府立香里丘高等学校	枚方市東中振2-18-1	2名
45	大阪府立金剛高等学校	富田林市藤沢台2-1-1	2名
46	大阪府立堺上高等学校	堺市西区上61	2名
47	大阪府立堺工科高等学校	堺市堺区大仙中町12-1	2名
48	大阪府立堺西高等学校	堺市南区桃山台4-16	2名
49	大阪府立堺東高等学校	堺市南区晴美台1-1-2	2名
50	大阪府立桜塚高等学校	豊中市中桜塚4-1-1	2名
51	大阪府立佐野高等学校	泉佐野市市場東2-398	2名
52	大阪府立佐野工科高等学校	泉佐野市高松東1-3-50	2名
53	大阪府立狭山高等学校	大阪狭山市半田4-1510	2名
54	大阪府立四條畷高等学校	四條畷市雁屋北町1-1	2名
55	大阪府立信太高等学校	和泉市葛の葉町3-6-8	2名
56	大阪府立渋谷高等学校	池田市畑4-1-1	2名
57	大阪府立島本高等学校	三島郡島本町桜井台15-1	2名
58	大阪府立清水谷高等学校	大阪市天王寺区清水谷町2-44	2名
59	大阪府立城東工科高等学校	東大阪市西鴻池町2-5-33	2名
60	大阪府立吹田高等学校	吹田市原町4-24-14	2名
61	大阪府立吹田東高等学校	吹田市青葉丘南16-1	2名
62	大阪府立住吉高等学校	大阪市阿倍野区北島2-4-1	2名

63	大阪府立成城高等学校	大阪市城東区諏訪3-11-41	2名
64	大阪府立成美高等学校	堺市南區城山台4-1-1	2名
65	大阪府立摂津高等学校	摂津市学園町1-5-1	2名
66	大阪府立泉北高等学校	堺市南區若松台3-2-2	2名
67	大阪府立泉陽高等学校	堺市堺区車之町3-2-1	2名
68	大阪府立千里高等学校	吹田市高野台2-17-1	2名
69	大阪府立千里青雲高等学校	豊中市新千里南町1-5-1	2名
70	大阪府立高石高等学校	高石市千代田6-12-1	2名
71	大阪府立高槻北高等学校	高槻市別所本町36-3	2名
72	大阪府立槻の木高等学校	高槻市城内町2-13	2名
73	大阪府立豊島高等学校	豊中市北緑丘3-2-1	2名
74	大阪府立天王寺高等学校	大阪市阿倍野区三明町2-4-23	2名
75	大阪府立刀根山高等学校	豊中市刀根山6-9-1	2名
76	大阪府立登美丘高等学校	堺市東区西野51	2名
77	大阪府立豊中高等学校	豊中市上野西2-5-12	2名
78	大阪府立富田林高等学校	富田林市谷川町4-30	2名
79	大阪府立長尾高等学校	枚方市長尾家具町5-1-1	2名
80	大阪府立長野高等学校	河内長野市原町2-1-1	2名
81	大阪府立長吉高等学校	大阪市平野区長吉長原西3-11-33	2名
82	大阪府立西成高等学校	大阪市西成区津守1-13-10	2名
83	大阪府立西寝屋川高等学校	寝屋川市葛原2-19-1	2名
84	大阪府立西野田工科高等学校	大阪市福島区大開2-17-62	2名
85	大阪府立寝屋川高等学校	寝屋川市本町15-64	2名
86	大阪府立農芸高等学校	堺市美原区北余部595-1	2名
87	大阪府立野崎高等学校	大東市寺川1-2-1	2名
88	大阪府立豊中高等学校能勢分校	豊能郡能勢町上田尻580	2名
89	大阪府立伯太高等学校	和泉市伯太町2-4-11	2名
90	大阪府立花園高等学校	東大阪市花園東町3-1-25	2名
91	大阪府立阪南高等学校	大阪市住吉区庭井2-18-81	2名
92	大阪府立東住吉高等学校	大阪市平野区平野西2-3-77	2名
93	大阪府立東住吉総合高等学校	大阪市平野区喜連西2-11-66	2名
94	大阪府立東百舌鳥高等学校	堺市中区土塔町2377-5	2名
95	大阪府立東淀川高等学校	大阪市淀川区宮原4-4-5	2名
96	大阪府立日根野高等学校	泉佐野市日根野2372-1	2名
97	大阪府立枚岡樟風高等学校	東大阪市鷹殿町18-1	2名
98	大阪府立枚方高校高等学校	枚方市大垣内町3-16-1	2名
99	大阪府立枚方津田高等学校	枚方市津田北町2-50-1	2名
100	大阪府立枚方なぎさ高等学校	枚方市磯島元町20-1	2名
101	大阪府立平野高等学校	大阪市平野区長吉川辺4-2-11	2名
102	大阪府立福井高等学校	茨木市西福井3-33-11	2名
103	大阪府立福泉高等学校	堺市西区太平寺323	2名
104	大阪府立藤井寺高等学校	藤井寺市津堂3-516	2名
105	大阪府立藤井寺工科高等学校	藤井寺市御舟町10-1	2名
106	大阪府立布施高等学校	東大阪市下小阪3-14-21	2名
107	大阪府立布施北高等学校	東大阪市荒本西1-2-72	2名
108	大阪府立布施工科高等学校	東大阪市宝持3-7-5	2名
109	大阪府立北摂つばさ高等学校	茨木市玉島台2-15	2名
110	大阪府立枚野高等学校	枚方市南船橋1-11-1	2名
111	大阪府立茨田高等学校	大阪市鶴見区安田1-5-49	2名
112	大阪府立松原高等学校	松原市三宅東3-4-1	2名
113	大阪府立三国丘高等学校	堺市堺区南三国ヶ丘町2-2-36	2名
114	大阪府立岬高等学校	泉南郡岬町淡輪3246	2名
115	大阪府立三島高等学校	高槻市今城町27-1	2名
116	大阪府立みどり清朋高等学校	東大阪市池島町6-3-9	2名
117	大阪府立立港高等学校	大阪市港区波除2-3-1	2名
118	大阪府立箕面高等学校	箕面市牧落4-8-66	2名
119	大阪府立箕面東高等学校	箕面市粟生外院5-4-63	2名
120	大阪府立美原高等学校	堺市美原区平尾234-1	2名
121	大阪府立守口東高等学校	守口市八雲中町2-1-32	2名
122	大阪府立八尾高等学校	八尾市高町1-74	2名
123	大阪府立八尾北高等学校	八尾市萱振町7-42	2名
124	大阪府立八尾翠翔高等学校	八尾市神宮寺3-107	2名
125	大阪府立山田高等学校	吹田市山田東3-28-1	2名
126	大阪府立山本高等学校	八尾市山本町北1-1-44	2名

127	大阪府立夕陽丘高等学校	大阪市天王寺区北山町10-10	2名
128	大阪府立淀川工科高等学校	大阪市旭区太子橋3-1-32	2名
129	大阪府立緑風冠高等学校	大東市深野4-12-1	2名
130	大阪府立りんくう翔南高等学校	泉南市樽井2-35-54	2名
131	大阪府立勝山高等学校	大阪市生野区巽東3-10-75	2名
132	大阪府立わかば高等学校	大阪市生野区巽東3-10-75	2名
133	大阪府立桃谷高等学校	大阪市生野区勝山南3-1-4	2名
134	大阪府立柏原東高等学校	柏原市高井田1015	2名
135	大阪府立長野北高等学校	河内長野市木戸東町3-1	2名

大阪市立小学校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	滝川小学校	大阪市北区天満1-24-15	1名
2	堀川小学校	大阪市北区東天満2-10-7	1名
3	西天満小学校	大阪市北区西天満3-12-21	1名
4	菅北小学校	大阪市北区菅栄町9-5	1名
5	豊崎東小学校	大阪市北区長柄中2-3-30	1名
6	豊崎本庄小学校	大阪市北区本庄西2-1-16	1名
7	中津小学校	大阪市北区中津3-34-18	1名
8	大淀小学校	大阪市北区大淀中4-10-33	1名
9	豊仁小学校	大阪市北区長柄西2-6-20	1名
10	豊崎小学校	大阪市北区豊崎4-5-9	1名
11	扇町小学校	大阪市北区扇町2-7-24	1名
12	弘済小学校	吹田市古江台6-2-2	1名
13	弘済小学校分校	高槻市奈佐原956	1名
14	桜宮小学校	大阪市都島区東野田町1-10-19	1名
15	中野小学校	大阪市都島区中野町3-10-5	1名
16	高倉小学校	大阪市都島区高倉町3-3-10	1名
17	淀川小学校	大阪市都島区毛馬町3-5-39	1名
18	都島小学校	大阪市都島区都島本通3-10-3	1名
19	内代小学校	大阪市都島区内代町3-4-6	1名
20	東都島小学校	大阪市都島区都島本通4-24-20	1名
21	大東小学校	大阪市都島区毛馬町2-11-111	1名
22	友渕小学校	大阪市都島区友渕町1-3-123	1名
23	友渕小学校分校	大阪市都島区友渕町1-3-187	1名
24	福島小学校	大阪市福島区福島4-5-6	1名
25	玉川小学校	大阪市福島区玉川2-13-16	1名
26	野田小学校	大阪市福島区野田5-13-22	1名
27	吉野小学校	大阪市福島区吉野3-10-5	1名
28	大開小学校	大阪市福島区大開2-10-28	1名
29	鷺洲小学校	大阪市福島区鷺洲5-6-8	1名
30	海老江東小学校	大阪市福島区海老江1-6-19	1名
31	海老江西小学校	大阪市福島区海老江8-1-10	1名
32	上福島小学校	大阪市福島区福島7-4-33	1名
33	西九条小学校	大阪市此花区西九条4-3-41	1名
34	四貫島小学校	大阪市此花区四貫島2-16-29	1名
35	島屋小学校	大阪市此花区島屋2-9-36	1名
36	伝法小学校	大阪市此花区伝法3-13-10	1名
37	梅香小学校	大阪市此花区梅香3-17-29	1名
38	高見小学校	大阪市此花区高見1-3-35	1名
39	西島小学校	大阪市此花区西島2-5-12	1名
40	春日出小学校	大阪市此花区春日出中1-13-23	1名
41	玉造小学校	大阪市中央区玉造2-3-43	1名
42	南大江小学校	大阪市中央区農人橋1-3-3	1名
43	中大江小学校	大阪市中央区糸屋町2-3-14	1名
44	高津小学校	大阪市中央区高津3-4-21	1名
45	南小学校	大阪市中央区東心齋橋1-14-29	1名
46	開平小学校	大阪市中央区今橋1-5-7	1名
47	中央小学校	大阪市中央区瓦屋町2-8-4	1名
48	西船場小学校	大阪市西区江戸堀1-21-28	1名
49	日吉小学校	大阪市西区南堀江4-9-19	1名
50	九条南小学校	大阪市西区九条南2-13-17	1名
51	九条東小学校	大阪市西区九条2-6-2	1名
52	九条北小学校	大阪市西区九条南4-7-38	1名
53	本田小学校	大阪市西区川口1-5-19	1名
54	堀江小学校	大阪市西区北堀江3-2-16	1名
55	明治小学校	大阪市西区阿波座2-3-35	1名
56	明治小学校(分校)	大阪市西区立売堀4-10-18	1名
57	市岡小学校	大阪市港区市岡3-2-24	1名
58	磯路小学校	大阪市港区磯路3-7-7	1名
59	三先小学校	大阪市港区三先2-6-32	1名

60	田中小学校	大阪市港区田中2-10-34	1名
61	八幡屋小学校	大阪市港区八幡屋3-3-5	1名
62	波除小学校	大阪市港区波除3-6-8	1名
63	築港小学校	大阪市港区築港1-10-38	1名
64	南市岡小学校	大阪市港区南市岡2-6-35	1名
65	港晴小学校	大阪市港区港晴1-3-12	1名
66	弁天小学校	大阪市港区弁天2-9-35	1名
67	池島小学校	大阪市港区池島2-5-47	1名
68	三軒家西小学校	大阪市大正区三軒家西1-20-26	1名
69	泉尾東小学校	大阪市大正区千島1-16-16	1名
70	中泉尾小学校	大阪市大正区泉尾3-23-34	1名
71	北恩加島小学校	大阪市大正区泉尾5-17-31	1名
72	南恩加島小学校	大阪市大正区南恩加島3-6-11	1名
73	鶴町小学校	大阪市大正区鶴町2-6-24	1名
74	泉尾北小学校	大阪市大正区泉尾2-21-24	1名
75	平尾小学校	大阪市大正区平尾2-21-28	1名
76	三軒家東小学校	大阪市大正区三軒家東2-12-59	1名
77	小林小学校	大阪市大正区小林東2-4-45	1名
78	真田山小学校	大阪市天王寺区玉造本町14-41	1名
79	味原小学校	大阪市天王寺区味原町8-19	1名
80	桃陽小学校	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-2-23	1名
81	五条小学校	大阪市天王寺区小宮町9-28	1名
82	聖和小学校	大阪市天王寺区寺田町1-6-37	1名
83	大江小学校	大阪市天王寺区四天王寺1-9-18	1名
84	生魂小学校	大阪市天王寺区上汐4-1-25	1名
85	天王寺小学校	大阪市天王寺区大道1-4-49	1名
86	栄小学校	大阪市浪速区浪速東1-1-61	1名
87	難波元町小学校	大阪市浪速区元町1-5-30	1名
88	大国小学校	大阪市浪速区大国1-9-3	1名
89	浪速小学校	大阪市浪速区日本橋西1-7-6	1名
90	敷津小学校	大阪市浪速区敷津東3-9-32	1名
91	塩草立葉小学校	大阪市浪速区塩草1-4-31	1名
92	柏里小学校	大阪市西淀川区柏里2-13-33	1名
93	野里小学校	大阪市西淀川区野里2-21-13	1名
94	姫里小学校	大阪市西淀川区姫里2-8-24	1名
95	姫島小学校	大阪市西淀川区姫島1-10-4	1名
96	福小学校	大阪市西淀川区福町2-5-23	1名
97	大和田小学校	大阪市西淀川区大和田4-3-24	1名
98	川北小学校	大阪市西淀川区中島1-11-20	1名
99	佃小学校	大阪市西淀川区佃1-21-12	1名
100	香簀小学校	大阪市西淀川区御幣島6-5-25	1名
101	歌島小学校	大阪市西淀川区歌島2-5-18	1名
102	出来島小学校	大阪市西淀川区出来島2-2-24	1名
103	佃西小学校	大阪市西淀川区佃2-15-30	1名
104	御幣島小学校	大阪市西淀川区御幣島3-5-5	1名
105	神津小学校	大阪市淀川区十三元今里2-3-12	1名
106	田川小学校	大阪市淀川区田川2-9-37	1名
107	加島小学校	大阪市淀川区加島1-60-28	1名
108	三津屋小学校	大阪市淀川区三津屋中1-4-14	1名
109	新高小学校	大阪市淀川区新高1-15-53	1名
110	野中小学校	大阪市淀川区野中北1-11-26	1名
111	十三小学校	大阪市淀川区十三東4-3-6	1名
112	木川小学校	大阪市淀川区木川東3-7-32	1名
113	三国小学校	大阪市淀川区三国本町3-9-18	1名
114	北中島小学校	大阪市淀川区宮原5-3-4	1名
115	西中島小学校	大阪市淀川区西中島7-14-25	1名
116	塚本小学校	大阪市淀川区塚本3-5-6	1名
117	木川南小学校	大阪市淀川区木川東1-2-36	1名
118	東三国小学校	大阪市淀川区東三国6-3-24	1名
119	西三国小学校	大阪市淀川区西三国1-21-28	1名
120	新東三国小学校	大阪市淀川区東三国3-9-10	1名

121	宮原小学校	大阪市淀川区三国本町1-16-44	1名
122	東淡路小学校	大阪市東淀川区東淡路3-3-32	1名
123	西淡路小学校	大阪市東淀川区西淡路5-5-32	1名
124	菅原小学校	大阪市東淀川区菅原6-3-25	1名
125	新庄小学校	大阪市東淀川区上新庄2-20-5	1名
126	大隅東小学校	大阪市東淀川区瑞光5-8-19	1名
127	豊里小学校	大阪市東淀川区豊里5-14-60	1名
128	啓発小学校	大阪市東淀川区東中島4-8-38	1名
129	小松小学校	大阪市東淀川区小松3-18-15	1名
130	下新庄小学校	大阪市東淀川区下新庄5-2-9	1名
131	井高野小学校	大阪市東淀川区井高野1-28-17	1名
132	大桐小学校	大阪市東淀川区大桐4-1-15	1名
133	豊新小学校	大阪市東淀川区豊新4-17-26	1名
134	東井高野小学校	大阪市東淀川区井高野2-8-28	1名
135	大隅西小学校	大阪市東淀川区大隅2-3-18	1名
136	豊里南小学校	大阪市東淀川区豊里5-12-41	1名
137	大道南小学校	大阪市東淀川区大道南1-23-6	1名
138	東小橋小学校	大阪市東成区東小橋3-10-37	1名
139	大成小学校	大阪市東成区大今里西3-2-62	1名
140	中道小学校	大阪市東成区玉津1-7-39	1名
141	北中道小学校	大阪市東成区中道2-9-20	1名
142	中本小学校	大阪市東成区中本4-2-32	1名
143	東中本小学校	大阪市東成区東中本2-9-3	1名
144	今里小学校	大阪市東成区大今里1-35-29	1名
145	片江小学校	大阪市東成区大今里南2-13-2	1名
146	神路小学校	大阪市東成区大今里4-6-19	1名
147	深江小学校	大阪市東成区深江南1-4-6	1名
148	宝栄小学校	大阪市東成区神路1-15-48	1名
149	北鶴橋小学校	大阪市生野区鶴橋3-4-50	1名
150	御幸森小学校	大阪市生野区桃谷5-5-37	1名
151	鶴橋小学校	大阪市生野区桃谷2-20-32	1名
152	東桃谷小学校	大阪市生野区勝山北3-7-21	1名
153	勝山小学校	大阪市生野区勝山南1-3-5	1名
154	林寺小学校	大阪市生野区林寺2-14-3	1名
155	生野小学校	大阪市生野区舍利寺3-1-39	1名
156	中川小学校	大阪市生野区中川3-4-3	1名
157	東中川小学校	大阪市生野区新今里7-14-37	1名
158	小路小学校	大阪市生野区小路2-24-40	1名
159	東小路小学校	大阪市生野区小路東3-8-15	1名
160	田島小学校	大阪市生野区田島3-7-38	1名
161	舍利寺小学校	大阪市生野区勝山南4-15-25	1名
162	生野南小学校	大阪市生野区林寺6-6-7	1名
163	巽小学校	大阪市生野区巽中3-12-5	1名
164	北巽小学校	大阪市生野区巽北1-30-29	1名
165	西生野小学校	大阪市生野区生野西3-5-7	1名
166	巽南小学校	大阪市生野区巽南2-10-7	1名
167	巽東小学校	大阪市生野区巽東3-8-13	1名
168	清水小学校	大阪市旭区清水5-1-12	1名
169	古市小学校	大阪市旭区森小路2-10-35	1名
170	大宮小学校	大阪市旭区大宮4-9-16	1名
171	高殿小学校	大阪市旭区高殿6-9-10	1名
172	大宮西小学校	大阪市旭区中宮1-8-14	1名
173	生江小学校	大阪市旭区生江1-10-21	1名
174	城北小学校	大阪市旭区赤川3-13-47	1名
175	新森小路小学校	大阪市旭区新森6-3-13	1名
176	太子橋小学校	大阪市旭区太子橋1-12-15	1名
177	高殿南小学校	大阪市旭区高殿3-10-30	1名
178	榎並小学校	大阪市城東区野江4-1-28	1名
179	関目小学校	大阪市城東区関目6-5-5	1名
180	鯉江小学校	大阪市城東区今福西3-9-27	1名
181	今福小学校	大阪市城東区今福南2-1-53	1名

182	聖賢小学校	大阪市城東区新喜多2-4-35	1名
183	嶋野小学校	大阪市城東区嶋野西4-11-48	1名
184	中浜小学校	大阪市城東区中浜2-12-35	1名
185	城東小学校	大阪市城東区嶋野東3-16-41	1名
186	諏訪小学校	大阪市城東区永田2-15-5	1名
187	成育小学校	大阪市城東区成育1-5-19	1名
188	すみれ小学校	大阪市城東区古市2-6-38	1名
189	東中浜小学校	大阪市城東区東中浜5-4-5	1名
190	放出小学校	大阪市城東区放出西2-2-18	1名
191	関目東小学校	大阪市城東区関目4-12-15	1名
192	森之宮小学校	大阪市城東区森之宮1-6-64	1名
193	鯉江東小学校	大阪市城東区今福東1-3-26	1名
194	榎本小学校	大阪市鶴見区今津北1-5-35	1名
195	茨田南小学校	大阪市鶴見区諸口1-3-71	1名
196	茨田北小学校	大阪市鶴見区浜3-8-66	1名
197	鶴見小学校	大阪市鶴見区鶴見4-14-10	1名
198	今津小学校	大阪市鶴見区今津中4-1-48	1名
199	茨田東小学校	大阪市鶴見区茨田大宮3-7-61	1名
200	茨田西小学校	大阪市鶴見区横堤5-13-61	1名
201	横堤小学校	大阪市鶴見区横堤1-11-83	1名
202	みどり小学校	大阪市鶴見区緑2-4-45	1名
203	鶴見南小学校	大阪市鶴見区鶴見2-17-22	1名
204	茨田小学校	大阪市鶴見区安田2-1-8	1名
205	焼野小学校	大阪市鶴見区焼野1-3-44	1名
206	高松小学校	大阪市阿倍野区天王寺町北3-17-19	1名
207	常盤小学校	大阪市阿倍野区松崎町3-11-12	1名
208	常盤小学校分校	大阪市阿倍野区松崎町3-2-9	1名
209	金塚小学校	大阪市阿倍野区旭町3-4-46	1名
210	丸山小学校	大阪市阿倍野区丸山通1-4-43	1名
211	晴明丘小学校	大阪市阿倍野区晴明通10-34	1名
212	阿倍野小学校	大阪市阿倍野区阪南町2-17-21	1名
213	阪南小学校	大阪市阿倍野区阪南町5-7-40	1名
214	長池小学校	大阪市阿倍野区長池町20-26	1名
215	苗代小学校	大阪市阿倍野区阪南町1-26-30	1名
216	晴明丘南小学校	大阪市阿倍野区帝塚山1-23-8	1名
217	粉浜小学校	大阪市住之江区粉浜2-6-6	1名
218	安立小学校	大阪市住之江区住之江1-4-29	1名
219	敷津浦小学校	大阪市住之江区北島2-9-22	1名
220	加賀屋小学校	大阪市住之江区北加賀屋2-5-26	1名
221	住吉川小学校	大阪市住之江区西加賀屋4-1-4	1名
222	北粉浜小学校	大阪市住之江区粉浜1-5-48	1名
223	住之江小学校	大阪市住之江区御崎4-6-43	1名
224	平林小学校	大阪市住之江区平林南2-6-48	1名
225	加賀屋東小学校	大阪市住之江区東加賀屋1-6-25	1名
226	新北島小学校	大阪市住之江区新北島6-2-56	1名
227	南港光小学校	大阪市住之江区南港中4-4-22	1名
228	南港桜小学校	大阪市住之江区南港中5-2-48	1名
229	南港みなみ小学校	大阪市住之江区南港中3-5-14	1名
230	清江小学校	大阪市住之江区御崎5-7-18	1名
231	東粉浜小学校	大阪市住吉区東粉浜2-3-26	1名
232	住吉小学校	大阪市住吉区帝塚山西4-1-35	1名
233	長居小学校	大阪市住吉区長居東3-3-40	1名
234	依羅小学校	大阪市住吉区我孫子4-11-48	1名
235	墨江小学校	大阪市住吉区墨江2-3-46	1名
236	遠里小野小学校	大阪市住吉区遠里小野6-6-27	1名
237	清水丘小学校	大阪市住吉区清水丘2-9-41	1名
238	南住吉小学校	大阪市住吉区南住吉3-5-1	1名
239	大領小学校	大阪市住吉区大領3-3-5	1名
240	苅田小学校	大阪市住吉区苅田3-5-34	1名
241	山之内小学校	大阪市住吉区山之内2-17-39	1名
242	苅田南小学校	大阪市住吉区苅田10-1-35	1名

243	苅田北小学校	大阪市住吉区苅田1-11-39	1名
244	大空小学校	大阪市住吉区我孫子西1-6-12	1名
245	桑津小学校	大阪市東住吉区桑津5-13-13	1名
246	北田辺小学校	大阪市東住吉区北田辺3-11-14	1名
247	田辺小学校	大阪市東住吉区田辺2-3-34	1名
248	東田辺小学校	大阪市東住吉区東田辺2-14-6	1名
249	南田辺小学校	大阪市東住吉区南田辺4-3-4	1名
250	南百済小学校	大阪市東住吉区湯里1-15-40	1名
251	育和小学校	大阪市東住吉区杭全4-10-12	1名
252	鷹合小学校	大阪市東住吉区鷹合3-12-38	1名
253	今川小学校	大阪市東住吉区今川4-24-4	1名
254	矢田小学校	大阪市東住吉区矢田3-4-27	1名
255	矢田東小学校	大阪市東住吉区住道矢田2-7-43	1名
256	矢田西小学校	大阪市東住吉区公園南矢田2-15-43	1名
257	矢田北小学校	大阪市東住吉区照ヶ丘矢田2-1-55	1名
258	湯里小学校	大阪市東住吉区湯里6-8-3	1名
259	長谷川小学校	柏原市円明町3-15	1名
260	喜連小学校	大阪市平野区喜連7-6-4	1名
261	平野西小学校	大阪市平野区背戸口4-1-31	1名
262	平野小学校	大阪市平野区平野宮町1-9-29	1名
263	長吉小学校	大阪市平野区長吉長原2-6-55	1名
264	瓜破小学校	大阪市平野区瓜破5-3-11	1名
265	加美小学校	大阪市平野区加美正覚寺3-13-35	1名
266	加美南部小学校	大阪市平野区加美南1-9-17	1名
267	平野南小学校	大阪市平野区平野南2-3-8	1名
268	長吉東小学校	大阪市平野区長吉出戸8-8-41	1名
269	喜連西小学校	大阪市平野区喜連西3-17-61	1名
270	長吉南小学校	大阪市平野区長吉六反3-2-17	1名
271	瓜破北小学校	大阪市平野区瓜破1-8-33	1名
272	長原小学校	大阪市平野区長吉長原東3-10-9	1名
273	喜連東小学校	大阪市平野区喜連東2-2-17	1名
274	瓜破東小学校	大阪市平野区瓜破東2-5-78	1名
275	加美北小学校	大阪市平野区加美北7-4-10	1名
276	長吉出戸小学校	大阪市平野区長吉出戸3-1-43	1名
277	瓜破西小学校	大阪市平野区瓜破西2-1-43	1名
278	喜連北小学校	大阪市平野区喜連1-7-4	1名
279	加美東小学校	大阪市平野区加美東5-9-25	1名
280	川辺小学校	大阪市平野区長吉川辺1-4-9	1名
281	新平野西小学校	大阪市平野区背戸口1-5-22	1名
282	天下茶屋小学校	大阪市西成区聖天下1-11-35	1名
283	岸里小学校	大阪市西成区千本中1-8-22	1名
284	玉出小学校	大阪市西成区玉出中2-13-48	1名
285	千本小学校	大阪市西成区千本中2-8-8	1名
286	橘小学校	大阪市西成区橘2-1-29	1名
287	梅南津守小学校	大阪市西成区梅南3-2-25	1名
288	松之宮小学校	大阪市西成区旭3-5-39	1名
289	長橋小学校	大阪市西成区長橋2-3-21	1名
290	北津守小学校	大阪市西成区北津守3-3-40	1名
291	南津守小学校	大阪市西成区南津守6-1-14	1名
292	新今宮小学校	大阪市西成区花園北1-8-32	1名

大阪市立中学校一覽

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	天満中学校	大阪市北区神山町12-9	2名
2	北稜中学校	大阪市北区天満橋1-1-58	2名
3	大淀中学校	大阪市北区大淀中2-1-11	2名
4	豊崎中学校	大阪市北区本庄東3-4-8	2名
5	新豊崎中学校	大阪市北区長柄東2-2-30	2名
6	弘済中学校	吹田市古江台6-2-2	2名
7	弘済中学校分校	高槻市奈佐原956	2名
8	高倉中学校	大阪市都島区御幸町1-1-10	2名
9	桜宮中学校	大阪市都島区東野田町5-16-10	2名
10	都島中学校	大阪市都島区中野町3-9-33	2名
11	淀川中学校	大阪市都島区毛馬町3-5-12	2名
12	友淵中学校	大阪市都島区友淵町1-5-151	2名
13	八阪中学校	大阪市福島区鷺洲6-1-13	2名
14	下福島中学校	大阪市福島区玉川1-4-11	2名
15	野田中学校	大阪市福島区吉野5-9-4	2名
16	春日出中学校	大阪市此花区春日出南1-2-8	2名
17	梅香中学校	大阪市此花区春日出北3-12-24	2名
18	此花中学校	大阪市此花区高見2-14-31	2名
19	咲くやこの花中学校	大阪市此花区西九条6-1-44	2名
20	東中学校	大阪市中央区大手前4-1-5	2名
21	南中学校	大阪市中央区島之内1-10-23	2名
22	上町中学校	大阪市中央区上本町西3-2-30	2名
23	西中学校	大阪市西区千代崎3-1-43	2名
24	花乃井中学校	大阪市西区江戸堀2-8-29	2名
25	堀江中学校	大阪市西区南堀江3-5-7	2名
26	市岡中学校	大阪市港区磯路1-5-21	2名
27	港中学校	大阪市港区池島1-5-35	2名
28	港南中学校	大阪市港区三先1-5-28	2名
29	市岡東中学校	大阪市港区市岡元町3-2-18	2名
30	築港中学校	大阪市港区築港1-2-41	2名
31	大正東中学校	大阪市大正区三軒家東4-4-30	2名
32	大正中央中学校	大阪市大正区小林東3-23-5	2名
33	大正西中学校	大阪市大正区南恩加島6-14-37	2名
34	大正北中学校	大阪市大正区北村3-1-1	2名
35	天王寺中学校	大阪市天王寺区北河堀町6-20	2名
36	夕陽丘中学校	大阪市天王寺区小宮町6-28	2名
37	高津中学校	大阪市天王寺区城南寺町1-31	2名
38	難波中学校	大阪市浪速区塩草1-1-59	2名
39	日本橋中学校	大阪市浪速区日本橋西1-7-6	2名
40	木津中学校	大阪市浪速区戎本町1-3-46	2名
41	淀中学校	大阪市西淀川区大和田6-13-6	2名
42	西淀中学校	大阪市西淀川区姫島6-10-5	2名
43	歌島中学校	大阪市西淀川区歌島2-11-9	2名
44	佃中学校	大阪市西淀川区佃2-15-93	2名
45	十三中学校	大阪市淀川区十三東5-1-27	2名
46	新北野中学校	大阪市淀川区新北野2-13-37	2名
47	三国中学校	大阪市淀川区西三国2-5-24	2名
48	美津島中学校	大阪市淀川区加島1-54-41	2名
49	東三国中学校	大阪市淀川区東三国6-3-68	2名
50	宮原中学校	大阪市淀川区西宮原3-3-2	2名
51	淡路中学校	大阪市東淀川区西淡路4-25-53	2名
52	柴島中学校	大阪市東淀川区柴島2-8-36	2名
53	瑞光中学校	大阪市東淀川区瑞光4-9-37	2名
54	中島中学校	大阪市東淀川区東中島4-8-38	2名
55	東淀中学校	大阪市東淀川区豊里6-25-19	2名
56	井高野中学校	大阪市東淀川区井高野2-8-13	2名
57	新東淀中学校	大阪市東淀川区豊里1-10-32	2名

58	大桐中学校	大阪市東淀川区大桐4-5-8	2名
59	東陽中学校	大阪市東成区深江北2-5-7	2名
60	本庄中学校	大阪市東成区東中本3-14-2	2名
61	玉津中学校	大阪市東成区玉津1-12-36	2名
62	相生中学校	大阪市東成区神路2-8-16	2名
63	大池中学校	大阪市生野区中川6-3-6	2名
64	桃谷中学校	大阪市生野区勝山北3-13-44	2名
65	生野中学校	大阪市生野区生野西3-5-40	2名
66	東生野中学校	大阪市生野区新今里7-9-25	2名
67	田島中学校	大阪市生野区田島5-23-7	2名
68	巽中学校	大阪市生野区巽中3-17-20	2名
69	新生野中学校	大阪市生野区巽東3-3-12	2名
70	新巽中学校	大阪市生野区巽南4-2-53	2名
71	旭陽中学校	大阪市旭区高殿5-9-31	2名
72	大宮中学校	大阪市旭区中宮4-7-11	2名
73	旭東中学校	大阪市旭区新森6-7-25	2名
74	今市中学校	大阪市旭区大宮5-13-40	2名
75	放出中学校	大阪市城東区放出西3-12-10	2名
76	蒲生中学校	大阪市城東区中央3-9-24	2名
77	城陽中学校	大阪市城東区嶋野西3-3-64	2名
78	董中学校	大阪市城東区古市1-18-4	2名
79	城東中学校	大阪市城東区永田3-3-58	2名
80	鯉江中学校	大阪市城東区今福西4-7-20	2名
81	茨田中学校	大阪市鶴見区諸口3-4-44	2名
82	緑中学校	大阪市鶴見区鶴見6-6-11	2名
83	茨田北中学校	大阪市鶴見区茨田大宮1-1-31	2名
84	今津中学校	大阪市鶴見区今津中1-3-55	2名
85	横堤中学校	大阪市鶴見区横堤1-11-27	2名
86	昭和中学校	大阪市阿倍野区桃ヶ池町2-3-17	2名
87	文の里中学校	大阪市阿倍野区美章園1-5-52	2名
88	阪南中学校	大阪市阿倍野区北畠1-16-24	2名
89	松虫中学校	大阪市阿倍野区松虫通3-4-45	2名
90	阿倍野中学校	大阪市阿倍野区昭和町3-2-4	2名
91	住吉第一中学校	大阪市住之江区粉浜西1-5-11	2名
92	加賀屋中学校	大阪市住之江区西加賀屋2-9-20	2名
93	住之江中学校	大阪市住之江区御崎8-1-6	2名
94	新北島中学校	大阪市住之江区新北島8-2-46	2名
95	南港北中学校	大阪市住之江区南港中4-3-39	2名
96	南港南中学校	大阪市住之江区南港中3-5-14	2名
97	真住中学校	大阪市住之江区御崎2-2-32	2名
98	水都国際中学校	大阪市住之江区南港中3-7-13	2名
99	三稜中学校	大阪市住吉区干駄1-5-22	2名
100	我孫子中学校	大阪市住吉区我孫子東1-4-32	2名
101	住吉中学校	大阪市住吉区帝塚山西3-5-6	2名
102	大和川中学校	大阪市住吉区遠里小野2-11-4	2名
103	東我孫子中学校	大阪市住吉区苅田1-16-2	2名
104	墨江丘中学校	大阪市住吉区墨江4-15-34	2名
105	大領中学校	大阪市住吉区大領4-3-25	2名
106	我孫子南中学校	大阪市住吉区浅香1-8-55	2名
107	田辺中学校	大阪市東住吉区南田辺4-7-24	2名
108	東住吉中学校	大阪市東住吉区桑津5-17-25	2名
109	中野中学校	大阪市東住吉区中野4-4-25	2名
110	矢田中学校	大阪市東住吉区住道矢田9-7-55	2名
111	白鷺中学校	大阪市東住吉区今川1-2-21	2名
112	矢田南中学校	大阪市東住吉区矢田3-4-27	2名
113	矢田西中学校	大阪市東住吉区公園南矢田2-12-47	2名
114	長谷川中学校	柏原市円明町3-15	2名
115	摂陽中学校	大阪市平野区平野西3-4-7	2名
116	平野中学校	大阪市平野区背戸口1-16-26	2名

117	長吉中学校	大阪市平野区長吉長原東1-6-15	2名
118	瓜破中学校	大阪市平野区瓜破2-5-31	2名
119	加美中学校	大阪市平野区加美正覚寺3-13-46	2名
120	長吉西中学校	大阪市平野区長吉長原西3-8-21	2名
121	喜連中学校	大阪市平野区喜連西6-2-11	2名
122	長吉六反中学校	大阪市平野区長吉六反4-9-61	2名
123	瓜破西中学校	大阪市平野区瓜破西2-12-22	2名
124	加美南中学校	大阪市平野区加美南1-10-15	2名
125	平野北中学校	大阪市平野区平野宮町1-8-55	2名
126	天下茶屋中学校	大阪市西成区橘1-8-2	2名
127	今宮中学校	大阪市西成区花園北1-8-32	2名
128	成南中学校	大阪市西成区千本中1-17-10	2名
129	鶴見橋中学校	大阪市西成区長橋3-9-23	2名
130	玉出中学校	大阪市西成区玉出西1-15-37	2名
131	梅南中学校	大阪市西成区梅南3-3-17	2名

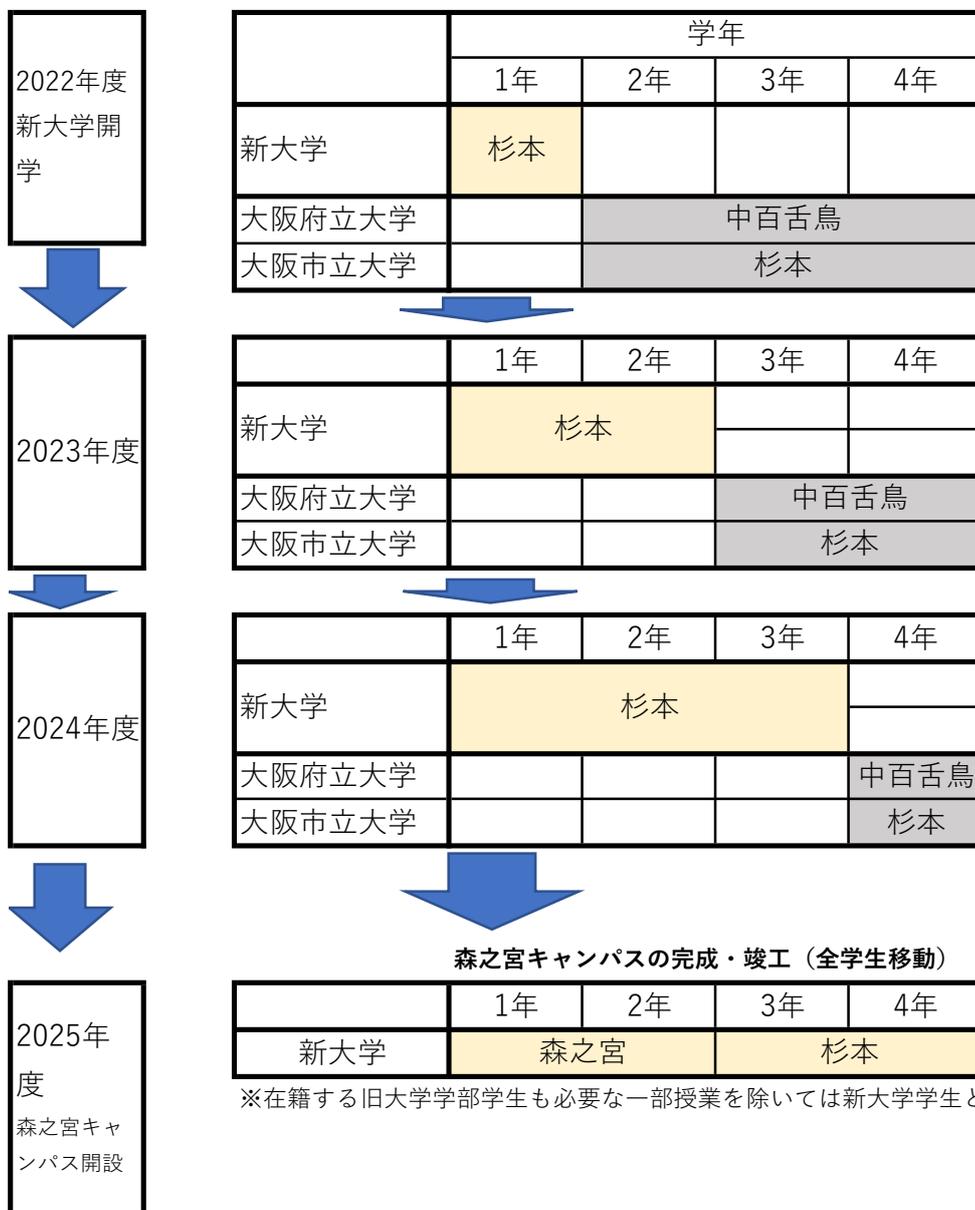
大阪市立高校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	大阪市立桜宮高等学校	大阪市都島区毛馬町5-22-28	2名
2	大阪市立東高等学校	大阪市都島区東野田町4-15-14	2名
3	大阪市立南高等学校	大阪市中央区谷町6-17-32	2名
4	大阪市立西高等学校	大阪市西区北堀江4-7-1	2名
5	大阪市立汎愛高等学校	大阪市鶴見区今津中2-1-52	2名
6	大阪市立高等学校	枚方市北中振2-8-1	2名
7	大阪市立淀商業高等学校	大阪市西淀川区野里3-3-15	2名
8	大阪市立鶴見商業高等学校	大阪市鶴見区緑2-10-9	2名
9	大阪市立住吉商業高等学校	大阪市住之江区御崎7-12-55	2名
10	大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校	大阪市天王寺区烏ヶ辻2-9-26	2名
11	大阪市立水都国際高等学校	大阪市住之江区南港中3-7-13	2名
12	大阪市立都島工業高等学校	大阪市都島区善源寺町1-5-64	2名
13	大阪市立泉尾工業高等学校	大阪市大正区泉尾5-16-7	2名
14	大阪市立東淀工業高等学校	大阪市淀川区加島1-52-81	2名
15	大阪市立生野工業高等学校	大阪市生野区生野東2-3-66	2名
16	大阪市立工芸高等学校	大阪市阿倍野区文の里1-7-2	2名
17	大阪市立扇町総合高等学校	大阪市北区松ヶ枝町1-38	2名
18	大阪市立咲くやこの花高等学校	大阪市此花区西九条6-1-44	2名
19	大阪市立中央高等学校	大阪市中央区釣鐘町1-1-5	2名

経済学部キャンパスの遷移

新大学 新キャンパス整備に伴う校地（教育実施場所）遷移について

学部



※在籍する旧大学学部学生も必要な一部授業を除いては新大学学生と同じ